

平成28年4月27日

三重県議会議長 中村 進一 様

会派名 能動

代表者名 長田 隆尚



平成27年度政務活動費に係る収支報告について

三重県政務活動費の交付に関する条例第11条第1項（第2項）の規定により、別紙のとおり、平成27年度（5～3月分）政務活動費収支報告書を提出します。

平成27年度 政務活動費収支報告書

氏 名 長田 隆尚

- 1 区 分 会派
 2 報告対象期間 平成27年5月1日 ～ 平成28年3月31日
 3 収 入 政務活動費 1,650,000円
 4 支 出

経 費	支 出 額	内 訳		備 考
		支出科目	支 出 額	
調査研究費	1,634,168円	旅費	1,634,168円	
		需用費	0円	
		委託料	0円	
		負担金	0円	
		その他	0円	
研修費	8,853円	旅費	8,853円	
		報償費	0円	
		需用費	0円	
		使用料	0円	
		負担金	0円	
		その他	0円	
広聴広報費	0円	旅費	0円	
		需用費	0円	
		通信運搬費	0円	
		その他	0円	
要請陳情等活動費	0円	旅費	0円	
		需用費	0円	
		その他	0円	
会議費	0円	旅費	0円	
		需用費	0円	
		使用料	0円	
		負担金	0円	
		その他	0円	
資料作成費	0円	需用費	0円	
		手数料	0円	
		その他	0円	
資料購入費	0円	図書購入費	0円	
		その他資料購入費	0円	
事務費	0円	需用費	0円	
		通信運搬費	0円	
		その他	0円	
人件費	0円	人件費	0円	
合 計	1,643,021円			

5 残 余 6,979円

10600002

平成27年度5月分～3月分政務活動の実施概要報告書

会派（議員）名 能 動

政務活動の主な内容、成果等

1. 地域交通対策、交通安全対策、水害対策、獣害対策、障がい者雇用対策、観光施策、産業振興等について、現地調査を行い、課題について当局と打ち合わせるとともに。国、市との連携が必要な部分については、市当局等と協議を行い、課題の解決に向けた協議等を行った。
2. 三重県政の課題について調査を行い、広く県民からの声を聴き、現状と課題について委員会等で質問した。
3. 亀山市の土砂崩落等災害対策、堆積土砂対策について、住民との打合せ等を行い、今後の三重県としての役割について議論を行った。
4. 新名神高速道路、鈴鹿亀山道路の整備に伴う交通安全対策について調査した。
5. 開発行為に伴う交通安全対策、水害対策について調査した。
6. 交通安全対策プログラムに基づく歩道整備について調査した。
7. 圏域にまたがる地域交通の在り方について調査した。
8. 県が行うべき獣害対策について調査した。

調查研究費

10600004

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 				
用務	防災、棕川の整備に関する調査他				
日程	平成27年5月2日 ～ 平成27年5月2日				
行き先	亀山市(みずきヶ丘他)				
金額	3,660円				
支出内訳	1 旅費			合計	3,660円
	自家用車使用1	5/2-5/2	(30円/km × 22km)		660円
	政務雑費1	5/2-5/2	(3,000円/日 × 1日)		3,000円
備考					

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	名越長明寺線の整備に関する調査他			
日程	平成27年5月3日 ~ 平成27年5月3日			
行き先	亀山市(田村町他)			
金額	3,480円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,480円
	自家用車使用1	5/3-5/3	(30円/km × 16km)	480円
	政務雑費1	5/3-5/3	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	各派世話人会傍聴及び鈴鹿川水系の堆積土砂対策に関する調査他		
日程	平成27年5月7日 ～ 平成27年5月7日		
行き先	津市（議事堂）、鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（亀山市役所他）		
金額	5,220円		
支出内訳	1 旅費		合計 5,220円
	自家用車使用1	5/7-5/7 (30円/km × 74km)	2,220円
	政務雑費1	5/7-5/7 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿川水系の災害復旧に関する調査			
日程	平成27年5月9日 ~ 平成27年5月9日			
行き先	亀山市(関町金場他)			
金額	4,380円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,380円
	自家用車使用1	5/9-5/9	(30円/km × 46km)	1,380円
	政務雑費1	5/9-5/9	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	加太川、前田川、安楽川他の災害復旧に関する調査			
日程	平成27年5月10日 ～ 平成27年5月10日			
行き先	亀山市(関町金場他)			
金額	4,620円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,620円
	自家用車使用1	5/10-5/10	(30円/km × 54km)	1,620円
	政務雑費1	5/10-5/10	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	各派世話人会傍聴及び国道306号線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年5月11日 ～ 平成27年5月11日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(亀山市役所他)		
金額	4,320円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,320円
	自家用車使用1	5/11-5/11 (30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	5/11-5/11 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	各派世話人会傍聴及び加太川の災害復旧に関する調査他		
日程	平成27年5月12日 ～ 平成27年5月12日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(加太北在家他)		
金額	5,160円		
支出内訳	1 旅費		合計 5,160円
	自家用車使用1	5/12-5/12 (30円/km × 72km)	2,160円
	政務雑費1	5/12-5/12 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	草刈りの自治会委託に関する調査他		
日程	平成27年5月14日 ～ 平成27年5月14日		
行き先	亀山市(辺法寺町他)		
金額	3,750円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,750円
	自家用車使用1	5/14-5/14 (30円/km × 25km)	750円
	政務雑費1	5/14-5/14 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	急傾斜地対策に関する調査他			
日程	平成27年5月15日 ～ 平成27年5月15日			
行き先	亀山市(阿野田町他)			
金額	3,330円			
支出内訳	1 旅費		合計	3,330円
	自家用車使用1	5/15-5/15	(30円/km × 11km)	330円
	政務雑費1	5/15-5/15	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿川、安楽川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年5月16日 ～ 平成27年5月16日			
行き先	亀山市（関町古厩他）			
金額	4,140円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,140円
	自家用車使用1	5/16-5/16	(30円/km × 38km)	1,140円
	政務雑費1	5/16-5/16	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	獣害対策に関する調査他		
日程	平成27年5月17日 ～ 平成27年5月17日		
行き先	亀山市（関町越川他）		
金額	3,720円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,720円
	自家用車使用1	5/17-5/17 (30円/km × 24km)	720円
	政務雑費1	5/17-5/17 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	亀山白山線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年5月18日 ～ 平成27年5月18日		
行き先	亀山市(天神他)		
金額	3,270円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,270円
	自家用車使用1	5/18-5/18 (30円/km × 9km)	270円
	政務雑費1	5/18-5/18 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	鈴鹿地区事業説明会			
日程	平成27年5月19日 ～ 平成27年5月19日			
行き先	鈴鹿市(三重県鈴鹿庁舎)			
金額	3,890円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,890円
	運賃等1	5/19-5/19	三重交通: 亀山駅前⇒西条宮前	690円
	運賃等2	5/19-5/19	JR: 加佐登⇒亀山	200円
	政務雑費1	5/19-5/19	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分: 会派分) (経費区分: 調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	小学生の教育カリキュラム及び木質バイオマス発電に関する調査		
日程	平成27年5月20日 ~ 平成27年5月20日		
行き先	石川県小松市(こまつの杜、コマツ栗津工場)		
金額	13,130円		
支出内訳	1 旅費	合計	10,430円
	運賃等1 5/20-5/20 JR: 福井⇒亀山		4,000円
	運賃等2 5/20-5/20 JR特急指定席: 福井⇒米原		1,700円
	運賃等3 5/20-5/20 JR新幹線自由席: 米原⇒名古屋		1,730円
	政務雑費1 5/20-5/20 (3,000円/日 × 1日)		3,000円
	2 付随する経費	合計	2,700円
	その他1 5/20-5/20 コマツ栗津工場手土産		2,700円
備考	往路は、藤田宜三車同乗のため計上せず。		

領 収 証

能 勤

長田 隆尚様

No. _____

★

¥2,700-

内 訳	但
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

コクヨ ウケ-98

27 年 5 月 19 日 上記正に領収いたしました

藤田大野木 2008-12



収入印紙

10600018

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	代表者会議傍聴及び加太川の災害復旧に関する調査他			
日程	平成27年5月21日 ～ 平成27年5月21日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（金場公民館他）			
金額	4,740円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,740円
	自家用車使用1	5/21-5/21	(30円/km × 58km)	1,740円
	政務雑費1	5/21-5/21	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	起業支援に関する調査他			
日程	平成27年5月22日 ～ 平成27年5月22日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（白木町他）			
金額	4,500円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,500円
	自家用車使用1	5/22-5/22	(30円/km × 50km)	1,500円
	政務雑費1	5/22-5/22	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)			
用務	耐震補強、充害対策に関する調査他			
日程	平成27年5月23日 ～ 平成27年5月23日			
行き先	亀山市(亀山市総合保健福祉センター他)			
金額	4,050円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,050円
	自家用車使用1	5/23-5/23	(30円/km × 35km)	1,050円
	政務雑費1	5/23-5/23	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	起業支援に関する調査他			
日程	平成27年5月25日 ～ 平成27年5月25日			
行き先	津市（三重県産業支援センター）、亀山市（亀山商工会議所他）			
金額	4,170円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,170円
	自家用車使用1	5/25-5/25	(30円/km. × 39km)	1,170円
	政務雑費1	5/25-5/25	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿亀山道路総会及びバリアフリーに関する調査他			
日程	平成27年5月27日 ～ 平成27年5月27日			
行き先	鈴鹿市(鈴鹿川河川防災センター)、亀山市(亀山市観光協会他)			
金額	4,260円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,260円
	自家用車使用1	5/27-5/27	(30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	5/27-5/27	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	政策担当者会議、鈴鹿建設事務所亀山市役所調整会議		
日程	平成27年5月28日 ～ 平成27年5月28日		
行き先	津市（議事堂）、鈴鹿市（三重県鈴鹿庁舎）		
金額	3,760円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,760円
	運賃等1	5/28-5/28 JR: 亀山⇒津	320円
	運賃等2	5/28-5/28 近鉄: 津⇒三日市	440円
	政務雑費1	5/28-5/28 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考	三重県鈴鹿庁舎からの帰路は、他車同乗のため計上せず		

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	加太川の災害復旧に関する調査他			
日程	平成27年5月29日 ～ 平成27年5月29日			
行き先	亀山市（加太中在家他）			
金額	4,260円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,260円
	自家用車使用1	5/29-5/29	(30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	5/29-5/29	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	四日市関線の道路改良に関する調査他			
日程	平成27年5月30日 ～ 平成27年5月30日			
行き先	亀山市(関町新所他)			
金額	3,690円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,690円
	自家用車使用1	5/30-5/30	(30円/km × 23km)	690円
	政務雑費1	5/30-5/30	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	中ノ川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年5月31日 ～ 平成27年5月31日			
行き先	亀山市（下庄町他）			
金額	3,420円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,420円
	自家用車使用1	5/31-5/31	(30円/km × 14km)	420円
	政務雑費1	5/31-5/31	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	国道25号線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年6月1日 ~ 平成27年6月1日			
行き先	亀山市(加太市場他)			
金額	3,930円			
支出内訳	1 旅費		合計	3,930円
	自家用車使用1	6/1-6/1	(30円/km × 31km)	930円
	政務雑費1	6/1-6/1	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	シャープ他企業の地域経済への影響に関する調査他			
日程	平成27年6月2日 ～ 平成27年6月2日			
行き先	亀山市（白木町他）			
金額	3,450円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,450円
	自家用車使用1	6/2-6/2	(30円/km × 15km)	450円
	政務雑費1	6/2-6/2	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用 務	高齢者の交通安全対策に関する調査他			
日 程	平成27年6月5日 ~ 平成27年6月5日			
行 き 先	津市(議事堂)、亀山市(亀山市総合保健福祉センター他)			
金 額	4,000円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,000円
	運賃等1	6/5-6/5	JR: 亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	6/5-6/5	(30円/km × 12km)	360円
	政務雑費1	6/5-6/5	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備 考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年6月9日 ～ 平成27年6月9日			
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（亀田町他）			
金額	4,080円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,080円
	自家用車使用1	6/9-6/9	(30円/km × 36km)	1,080円
	政務雑費1	6/9-6/9	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	商店街の活性化、竜川の整備に関する調査他			
日程	平成27年6月11日 ~ 平成27年6月11日			
行き先	亀山市(野村他)			
金額	3,240円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,240円
	自家用車使用1	6/11-6/11	(30円/km × 8km)	240円
	政務雑費1	6/11-6/11	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	安楽川の堆積土砂対策に関する調査他		
日程	平成27年6月14日 ～ 平成27年6月14日		
行き先	亀山市(安坂山町他)		
金額	4,080円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,080円
	自家用車使用1	6/14-6/14 (30円/km × 36km)	1,080円
	政務雑費1	6/14-6/14 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	亀山関線の整備に関する調査他			
日程	平成27年6月15日 ～ 平成27年6月15日			
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（布気町他）			
金額	4,170円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,170円
	自家用車使用1	6/15-6/15	(30円/km × 39km)	1,170円
	政務雑費1	6/15-6/15	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	四日市関線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年6月21日 ～ 平成27年6月21日		
行き先	亀山市（関町会下他）		
金額	3,720円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,720円
	自家用車使用1	6/21-6/21 (30円/km × 24km)	720円
	政務雑費1	6/21-6/21 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	空き家対策及び鈴鹿亀山道路に関する調査他		
日程	平成27年6月23日 ～ 平成27年6月23日		
行き先	亀山市（加太中在家他）		
金額	4,710円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,710円
	自家用車使用1	6/23-6/23 (30円/km × 57km)	1,710円
	政務雑費1	6/23-6/23 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年6月24日 ～ 平成27年6月24日			
行き先	亀山市(川合町他)			
金額	3,360円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,360円
	自家用車使用1	6/24-6/24	(30円/km × 12km)	360円
	政務雑費1	6/24-6/24	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	代表者会議傍聴及び国道25号線の改良に関する調査他			
日程	平成27年6月29日 ～ 平成27年6月29日			
行き先	津市(議事堂)、亀山市(加太中在家他)			
金額	5,250円			
支出内訳	1 旅費			合計 5,250円
	自家用車使用1	6/29-6/29	(30円/km × 75km)	2,250円
	政務雑費1	6/29-6/29	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	イタリアミラノ万博調査他			
日程	平成27年6月30日 ～ 平成27年7月6日			
行き先	イタリア(ミラノ市、ベネチア市)			
金額	955,748円			
支出内訳	1 旅費			合計 729,690円
	運賃等1	6/30-7/6	航空代(海外線)	560,330円
	運賃等2	6/30-7/6	航空代(国内線)	8,600円
	運賃等3	6/30-7/6	国内空港税	2,570円
	運賃等4	6/30-7/6	海外空港税	10,040円
	運賃等5	6/30-7/6	燃油サーチャージ	27,600円
	運賃等6	6/30-6/30	JR:亀山⇒名古屋	970円
	運賃等7	6/30-7/6	名鉄(ミュースカイ):名鉄名古屋⇒中部国際空港	1,230円
	運賃等8	7/6-7/6	京浜急行:羽田空港国際線ターミナル⇒品川	410円
	運賃等9	7/6-7/6	JR(新幹線グリーン):品川⇒亀山	15,440円
	宿泊費1	7/1-7/3	(21,500円/泊 × 3泊)	64,500円
	政務雑費1	6/30-6/30	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
	政務雑費2	7/1-7/5	(7,000円/日 × 5日)	35,000円
	2 付随する経費			合計 226,058円
	その他1	7/1-7/5	専用車代	76,688円
	その他2	7/1-7/4	ガイド代	61,028円
	その他3	7/1-7/4	通訳代	40,342円
	その他4	7/1-7/4	視察入場一式	48,000円
備考	ベネチアを除く			

政 務 活 動 報 告 書

会 派 名 代 表 者 名	能 動 代 表 長 田 隆 尚	
旅 行 者 職 氏 名	長 田 隆 尚	
日 程 及 び 行 き 先	平成27年6月30日～平成27年7月6日 イタリアミラノ市・ベネチア市	
目 的	ミラノ万博調査他	
経費内訳	別紙	
概 要 等	1、 ミラノ万博本県出展調査 2、 ミラノ万博四日市市取組調査 3、 ミラノ商工会議所、万博取組調査 4、 ミラノ産業連盟、中小企業支援、企業誘致取組調査 5、 アグリツーリズム関係農家取組調査 6、 観光政策調査 7、 ヴェネチアサミット関係調査 8、 現地日本企業との意見交換 ※詳細レポート別紙	

※ 本様式は、会派の政務活動で使用する。

(参考様式第1)

宿 泊 証 明 書

宿泊者氏名	Takahisa Nagata
宿 泊 日	2015年 7月 1日から 3泊

上記のとおり宿泊したことを証明します。

2015年 7月 4日

STARNOTELS SITE
Via Spadarianni, 40 - 20129 MILANO
Tel. 02/2055 Fax 02/20516079
E.MAIL: site.mi@starnoteels.it

宿泊施設名

印

- ※ 上記様式は、政務活動用務で宿泊を要した場合に、宿泊先で発行を依頼し、旅費等支出計算書に添付するものとする。
- ※ 宿泊先で同様の内容が記載された宿泊先所定の証明書がある場合は、それをもって代えることができる。

ご旅行代金内訳書
新政みえ 御中



株式会社JTB中部
四日市支店

期 間: 2015年6月30日(火) ~ 7月6日(月)
方 面: ミラノ・ベネチア
人 数: 7名様
添乗員: 同行いたしません

三重県四日市市浜田町5-27

第3加藤ビル1階

〒510-0067

担当者

1. 旅行代金: ¥6,760,000 ※

項目	概要	単価	数	金額
航空機関連	航空券代(海外線)	¥580,330	7	¥3,922,310
航空機関連	航空券代(国内線)	¥8,600	7	¥60,200
航空機関連	国内空港税	¥2,570	7	¥17,990
航空機関連	海外空港税	¥10,040	7	¥70,280
航空機関連	燃油サーチャージ	¥27,600	7	¥193,200
宿泊関連費	宿泊費(4泊分)	¥86,000	7	¥602,000
その他経費	専用車代	¥671,020	1	¥671,020
その他経費	ガイド代	¥534,000	1	¥534,000
その他経費	通訳代	¥353,000	1	¥353,000
その他経費	視察入場料・その他雑費	¥48,000	7	¥336,000
1. 旅行代金				¥6,760,000
2. 申込金				¥5,488,000
3. 清算額(1-2)				¥1,272,000

【備考】

10600042

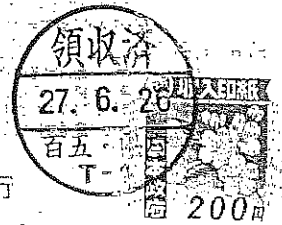
三菱東京UFJ銀行

第 〇 〇 〇 号

振込金受取書 兼 振込手数料受取書

振込先 三菱東京UFJ銀行		振込先 振込集中錦	
振込金額 〇 〇 〇 〇 〇 〇	口座番号 5 5 7 4 1 2 6	金額 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	金額 5 4 8 8 〇 〇 〇
振込人 カノ シ イ テ イ ヒ ー キ ュ ウ フ		振込人 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
振込先 株式会社 JTB 中部		振込先 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
振込先 新 政 時 元 津市広明町13		振込先 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	

864



百五銀行

百五銀行
*2118

$\frac{d}{dt} \left(\frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right) = \frac{\partial L}{\partial x}$

振込受付書

百五銀行
* 130

新政みえ・能動
ミラノ国際博覧会等
視察報告書

2015年7月1日(水)～7月6日(月)



ミラノ万博 日本館の正面入り口にて

新政みえ・能動 ミラノ国際博覧会等 視察報告書

目次

1. ミラノ万博について
 - (1) ミラノ万博について
 - (2) ゼロパビリオンについて ～ミラノ万博の隠れたテーマを推測する～
 - (3) 日本館について
 - (4) 日本館イベント広場での三重県出展と四日市市シティプロモーションについて
 - (5) ミラノ市内における万博の広報活動について
 - (6) ファーストフードとスローフード ～万博をめぐる矛盾～
2. 日本食の展開について
 - (1) ミラノ商工会議所の役員との懇談
 - (2) 日本とイタリアの貿易について
 - (3) 三重県産品のテストマーケティングについて
 - (4) 「につぼんサローネ」での日本 WEEK について
3. イタリアの農業政策について
 - (1) ミラノ市の公設卸売市場視察
 - (2) イタリアのアグリツーリズモ農場視察
4. ヴェネツィアサミット開催について
5. イタリアの諸制度について

金額上の説明は主にユーロで表記しているが、一部説明者によっては、円やドルで表記している場合もある。円で金額表示する場合は1ユーロ＝140 円で計算している。

新政みえ・能動 イタリア視察団メンバー

前田 剛志	新政みえ	団長
館 直人	新政みえ	
稲垣 昭義	新政みえ	
藤田 宜三	新政みえ	
下野 幸助	新政みえ	
芳野 正英	新政みえ	
長田 隆尚	能動	

視察団行程表

日時	スケジュール
6月30日 20:40 (火) 21:40	セントレア空港発 羽田空港着
7月1日 00:50 (水) 06:00 07:40 08:50 10:00 13:00 20:00	羽田よりフランクフルトへ 【機中泊】 フランクフルト着(現地時間) フランクフルト発 ミラノ着 ミラノ国際博覧会 会場到着 三重県展示 開始式典 出席 三重県交流レセプション 出席 (Cascina Cuccagna) 三重 WEEK 視察
7月2日 09:00 (木) 12:00 13:30 16:00 18:00	ミラノ公設卸売市場(SogeMi)視察 ミラノ国際博覧会 会場到着 四日市シティプロモーション 式典出席 ミラノ商工会議所国際関係部門(PROMOS) 会頭との会談 (以上、万博会場) 日本貿易振興機構(JETRO)ミラノ事務所 所長との会談
7月3日 09:30 (金) 16:00	ミラノ近郊の多角経営農園を視察 (Cascina Caremma) ミラノ着 「につぼんサローネ 日本 WEEK」 視察
7月4日 09:00 (土) 14:00 15:00	バスにてミラノ発 ヴェネツィア到着 ヴェネツィアサミット会場のサン・ジョルジョ・マッジョーレ教会 視察
7月5日 10:00 (日) 13:25 14:30 15:35	ヴェネツィア空港へ ヴェネツィア空港発 ミュンヘン着 ミュンヘン発 羽田空港へ 【機中泊】
7月6日 09:55 (月)	羽田空港着 新幹線で三重県へ

1. ミラノ万博について

(1)ミラノ万博について

【ミラノ万博概要】

国際博覧会条約に基づき、5年に一度開催される登録博覧会として、2015年5月1日から10月31日までミラノ市郊外で開催される。前回は2010年の上海万博。

開場時間：9時～21時(月、火) 9時～23時(水～日、祝日の月、火)

テーマ：「Feeding the Planet, Energy of Life(地球に食料を、生命にエネルギーを)」

参加国数：147か国

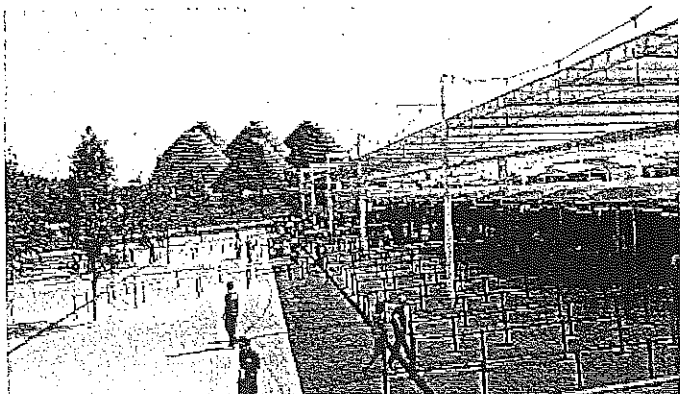
会場面積：110ha

想定入場者数 約2000万人(期間中延べ人数)

万博会場は木を使ったパビリオンが多く、ゼロパビリオンも外壁には木材がふんだんに使われている。また、日本館も木材を組み合わせたブロックのような造りになっている。

万博会場は19時から5ユーロで入場できるチケットがあるので、夕方から家族で来る人が多く、昼間の来場者は少ない。

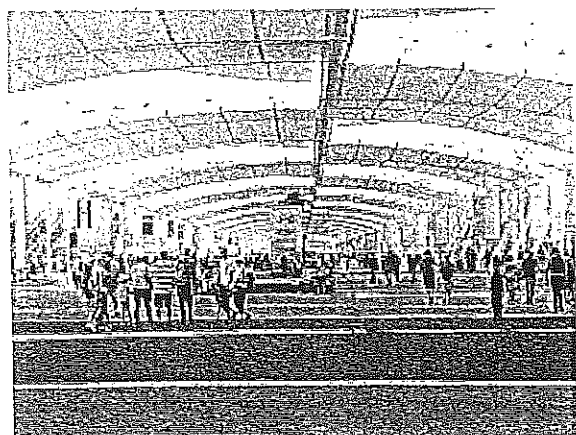
イタリアではこの時期、夜も21時ごろまでは明るいし、パビリオンも21時や22時まで空いているところも多く、夕食を会場で食べる方が、涼しくゆっくり楽しめるといふ地元っ子の判断である。



ミラノ万博会場入り口
朝10時台のためか入場者は少ない。



ミラノ万博の入り口。
金属探知機があるなど、テロ対策もなされている。



広大な万博会場のメインストリート

【ミラノ万博へのアクセス事情】

万博会場への電車での最寄り駅は、ミラノの地下鉄のメイン路線である 1 号線の終点である Rho-Fiera 駅であり、またミラノのノルド駅(北駅)から出ている電車に乗り、Rho-Fiera Expo2015 駅で降りてもすぐである。

車でのアクセスは、会場への大きな道路はなく、複雑な小路を通ることになり、バス駐車場も見つけにくくなっている。

なぜなら、元々この周辺は何もない広大な原野を開拓した場所であり、最近できた見本市会場しかなかったところに、万博会場を作ったからである。現在周辺でオフィスビルや工場を建設しているが、開発途上のため道が入り組んでしまっているようである。

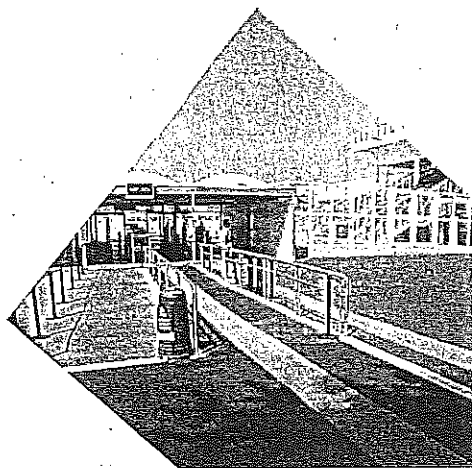
ヨーロッパ各国から万博を見学する場合は、旅行者の多くは鉄道を利用することが多く、駐車場は団体用のバスくらいしかなく、自家用車でのアクセスは少ないようである。

【ミラノ万博のバリアフリー事情】

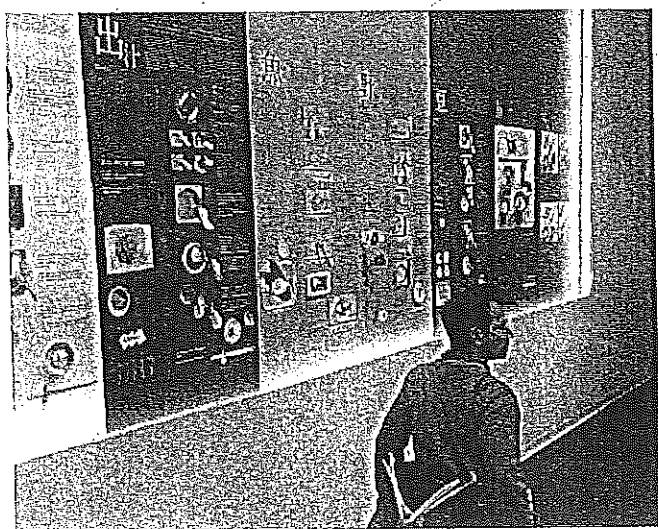
ミラノ万博のバリアフリーの状況を確認すると、会場入り口は障がい者専用入口があり、車いすや視覚障がい者が入れようになっている。

日本館等のパビリオンでも車いす等で通れるようになっていたり、視覚・聴覚障がい者に向けた展示方法を工夫したりしている。しかし、途上国のパビリオンなど一部では十分なバリアフリーが施されているとはいえないものも見られる。

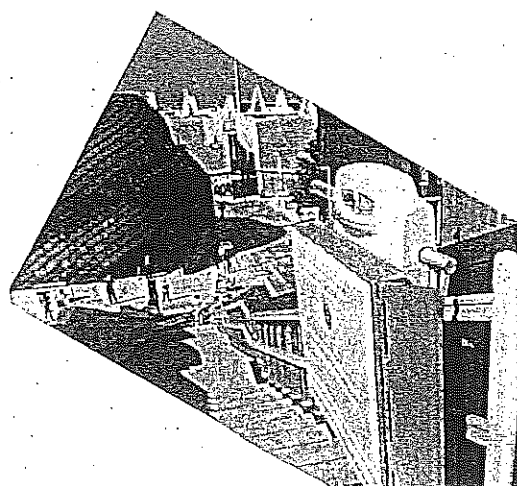
日本のバリアフリーの取組みを諸外国に発信する必要があるとあり、サミットに向けてのプレスツアー等でも、諸外国のプレスに、日本の三重県のバリアフリーの取組を示す意義が高いと考えられる。



万博会場入り口では、点字ブロックの障がい者専用入口も用意されている。



日本館を訪れる車いすの見学者
日本館のバリアフリーは完璧になされていて、この後介助無しに全展示を見て回った。



ヨーロッパの農機具メーカーのパビリオンには障がい者専用の電動いすが用意されており、2階上部へも移動できるようにしている。

(2)ゼロパビリオンについて ～ミラノ万博の隠れたテーマを推測する～

ミラノ国際博覧会のメインテーマを表すパビリオンとして正面ゲート(西側入り口)すぐに配置されているのが「ゼロパビリオン」である。

館内は、入るとすぐに図書館の書庫のような設えが、入場者を待ち受ける。それは、まさに古代ローマから 3000 年以上にわたって人類の歴史の中心としてイタリアが存在してきたことを示している。

また、中世ローマの様子を再現した VTR も流れているが、現在イタリアの一部では「中世の頃に帰ろう」という動きがあり(スローフード運動と親和性が高い)、そうした運動の一部を反映していると思われるような展示がある。

その奥には、イタリアはじめヨーロッパ諸国の産物の種から農産物、魚介類や畜産(アフリカで飼育されているダチョウもあり)といったものの展示があるが、こうしたものからヨーロッパとくにイタリアは食材の宝庫であり、過去から多くのものを食してきたことがわかる。

展示品の中にはイタリアの野菜で有名なズッキーニやラディッシュなどであるが、日本から入ってきている野菜もあり、大根などは「ダイコン」と呼ばれている。

イタリアは、多様性を受け入れる国であることがこうした展示からうかがえる。

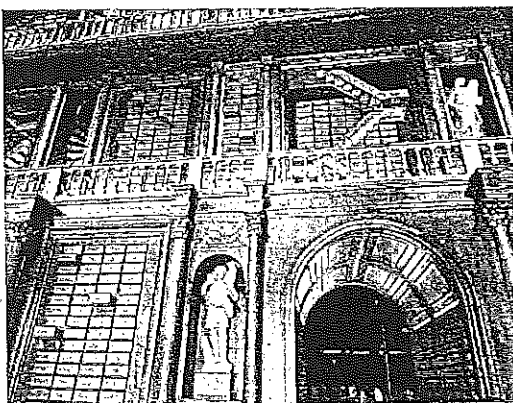
他に農機具や漁具の展示もあるが、人類の歴史を踏まえて多くの道具を使って食を進化させてきたことを示している。この点は同じように古い歴史を有する日本人にとっては、説明がなくても使用方法が推測できるような道具も陳列されており、洋の東西を問わず、古代からの道具の進化の共通項を見出すことができる。

パビリオン全体から感じることは、イタリアが古代からヨーロッパの中心であり、「食と文化の多様性」をメインのテーマとしているようである。

しかし、一方で中世イタリアを彷彿とさせる展示が多かったり、都会と農業生産の現場の乖離を示したり、食の廃棄物の多さを問題視したりする展示があるなど、その裏に「近代化への懐疑」がこの万博のテーマの根源にあると考えられ、イタリアのスローフード運動の影響が感じられる。



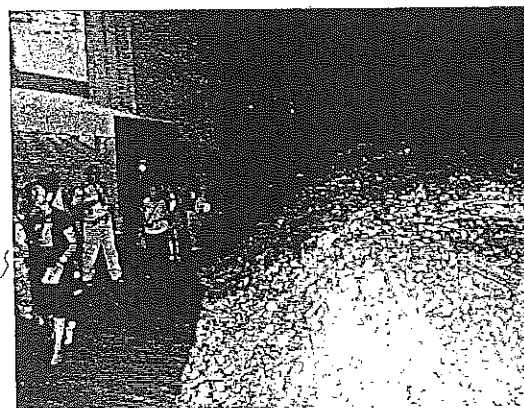
メインのゼロパビリオン



館内入口の書庫の展示



野菜から肉・魚など食材の展示



食の廃棄物の展示

(3)日本館について

日本館は、万博のパビリオンの中でも大きめの敷地面積約 4100 m²に 2 階建てのパビリオンを設けている。出展テーマは、「Harmonious Diversity(共存する多様性)」である。

メインメッセージは「日本の農林水産業や食を取り巻く様々な取組み、「日本食」や「日本食文化」に詰め込まれた様々な知恵や技が、人類共通の課題解決に貢献するとともに多様で持続可能な未来の共生社会を切り拓く」としており、農林水産省(第 1 次産業)、経済産業省(モノづくり)が幹事省庁となっており、国土交通省(観光)が副幹事省庁となっている。

日本貿易振興機構(JETRO)も参加機関として加わっている。

日本館は、待ち時間が平日は 30 分待ち。土日では 2 時間待ちと、この万博では有数の人気パビリオンの一つである。

日本の食についての関心が高いのか、パビリオン内では食品サンプルの展示と最後のショースタイルで日本の懐石料理を楽しめるブースが人気を集めている。

ただし、残念なことに日本人による展示でありながら、正しい日本文化の紹介という点では疑問点もある。公家や鎧をきた武者が阿波踊りのような踊りを踊るシーンがあったり、最後のショーではミラノのファッションショーなどに登場しそうな奇抜な着物風の衣装をきた女性が説明をしたりしている。

日本の食だけでなく、日本文化そのものに注目が集まっているし、日本への渡航者が多い現在において、奇妙な恰好をするのではなく、正当な和服を着て、料亭のおもてなしを再現できるような姿にすべきではなかったかと疑問に感じた。

不思議な国、東洋の神秘「ニッポン」というような 1980 年代頃の日本のイメージからの脱却ができていないのが残念であった。

日本館の 2 階には日本食を食べられるレストランが設けられている。日本食ブームを受けて客数も多く好評を得ている。

日本食の入居企業について。「美濃吉」「柿安」などが入る一方で、「ココ壱番屋」のカレーライスや「モスバーガー」等のブースが並ぶ。

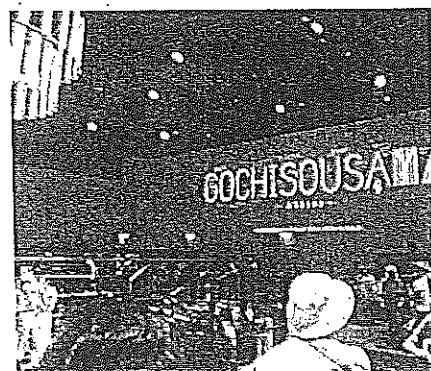
美濃吉が懐石料理を提供して、日本食を紹介しているが、ファーストフードの店舗が出店しているのには、残念であった。日本の食文化に関して、「京都のおばんざい」などの郷土料理を提供すべきではなかったかと思わざるを得ない。



平日でも行列ができる日本館



人気の日本食のサンプル展示
多くの外国人が写真に収めていた。



懐石料理の進行に従って、日本食を紹介するパフォーマンス

(4)日本館イベント広場での三重県出展と四日市市シティプロモーションについて

7月1日から4日までの10時から20時まで、日本館2階のイベント広場にて三重県のPRブースの出展が行われたので、会場を視察した。

【オープニングセレモニー】

初日の7月1日13時から三重県出展のオープニングセレモニーが行われた。

三重県を紹介するイタリア語のイメージビデオのあと、鈴木英敬三重県知事の挨拶があった。

ここでは、三重県のPRと来年5月に行われる「伊勢志摩サミット」の紹介と三重県への来県を呼びかけた。

前日の6月30日に伊賀市がシティプロモーションを行っていたので、岡本伊賀市長が引継ぎという形で鈴木知事に伊賀の産品と忍者グッズを手渡すセレモニーがあった。

「忍者」は、イタリアでも有名であり、前日の伊賀市のプロモーションでも日本館の来場者を始め多くの人々が忍者ショーを見入ったようである。忍者風衣装の岡本市長から鈴木知事へ伊賀のお酒を手渡す時も、多くの来場者が写真に収めていた。

「忍者の里」が、三重県をPRする有効な手段であることを改めて認識できた。



鈴木知事と忍者風衣装の
岡本伊賀市長

この後、三重県立相可高校の食物調理科の生徒と京都嵐山吉兆総料理長の徳岡邦夫氏が、日本料理の調理方法を紹介するデモンストレーションを行った。メニューは、「鯛の出汁茶漬け」であり、ご飯の炊き方や鯛のさばき方など日本料理の基本を丁寧に解説しながら、大型スクリーンを使って紹介した。

この会場では、4日間で午前2回、午後2回計12回の料理実演・試食提供があったので、日本館に来ていた外国人の皆さんには喜んでもらったと思う。



会場で調理を披露する
相可高校食物調理科の生徒

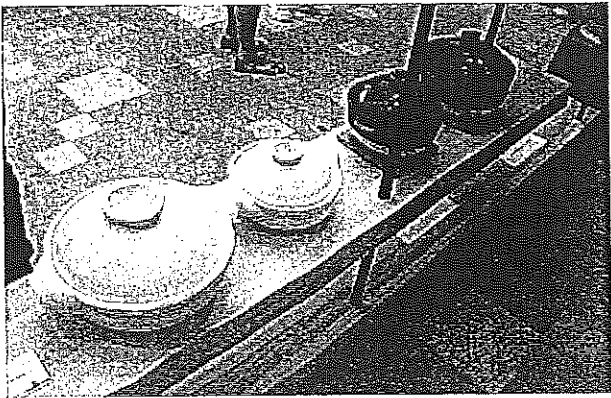
【三重県の工芸品の展示】

イベント広場では、会場をそれぞれ「香りの間」「祈りの間」「体感の間」「茶室の間」の4区画に分け、その場所に合う「四日市萬古焼」「鈴鹿墨」「伊賀組紐」等の県の伝統産業の紹介も行った。

展示の仕方はおしゃれで芸術的であったが、それ故にインパクトに欠け、せっかく足を止めて県のパフォーマンスを見入っていた人々が、伝統工芸品をじっくり目にする仕掛けにはなっていなかった。

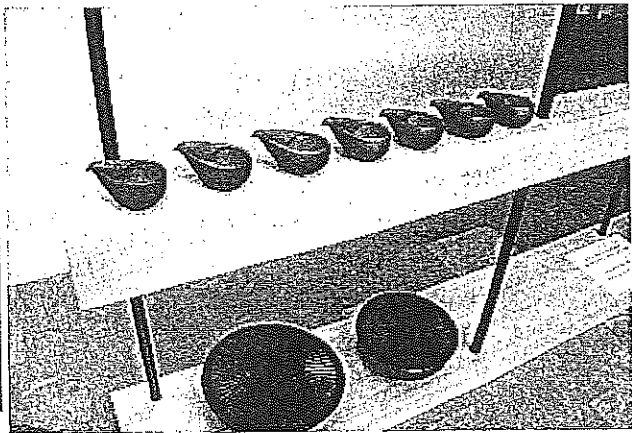
萬古焼や鈴鹿墨などは、使用方法や使用場所の紹介などが少なく、外国人にどのように使用するかイメージできないようであった。せっかくの展示をしながら、来場者がその前を素通りするようでは効果がない。

こうした伝統工芸品の展示に関しては、日本国内で行う展示方法と違い、基礎的なことからしっかりと説明することが大切であると痛感した。

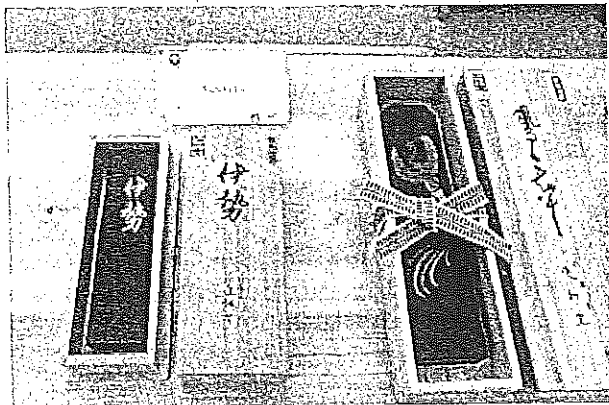


萬古焼の土鍋

用途や目的が展示されていないので、来場者もあまり足を止めて見なかった。

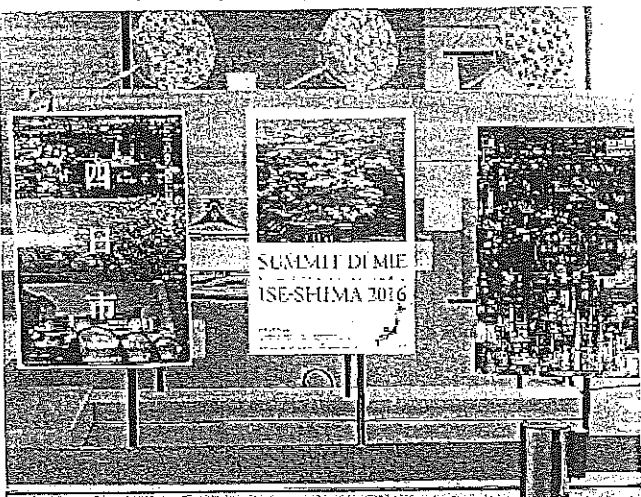


おしゃれには展示された品々



鈴鹿墨

書道の文化のないヨーロッパでは、この展示方法では何をするものかわからない。



サミット開催や四日市市の工場夜景のPRポスター会場が広いせいか、やや目立たない。
ただ、一緒に掲示していた日永うちわは暑かったせいもあって、好評で問い合わせが多かった。

「茶室の間」では、一日に数回、相可高校の生徒が調理した料理や伊勢茶・三重の地酒の試飲を行っていた。しかし、そうした企画をしている時間外は、用途を説明できないので、日本間の開館中ずっと来場者に説明できるように、紹介パネルを設けるべきではなかったか。

今後も三重県は海外見本市などに出展する機会も増えるであろうと思われるから、そうした場所では、効果のある展示と紹介パネルを十分に研究する必要があると思われる。

【四日市市のシティプロモーション】

7月2日13時30分から四日市市のシティプロモーションが行われたので、こちらも視察した。

田中俊行四日市市長から、四日市市のPRを含めた挨拶があった。

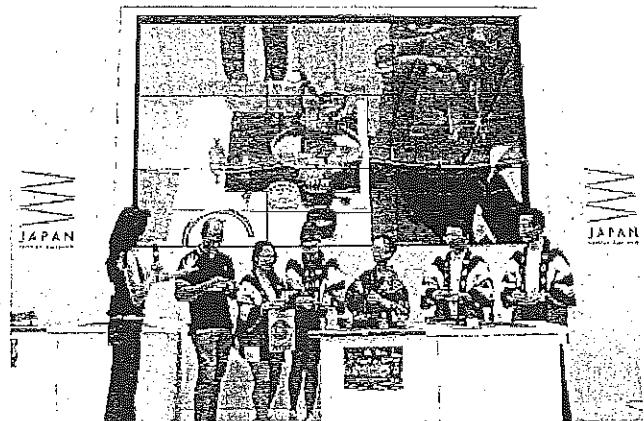
しかし、四日市市内で行われている国内の「ファミリー音楽コンクール」の紹介をするなど、海外での四日市市の紹介にふさわしいのか疑問に思われるような場面もあった。

単独で市の紹介を海外ですることは難しいし、伊賀市のように「忍者」という海外にも浸透しているキャラクターがあればよいが、それがなくても市のPR方法は工夫をする必要がある。

三重県も四日市市も、ともにイタリア語でのPR誌を作成して配布をしていた。



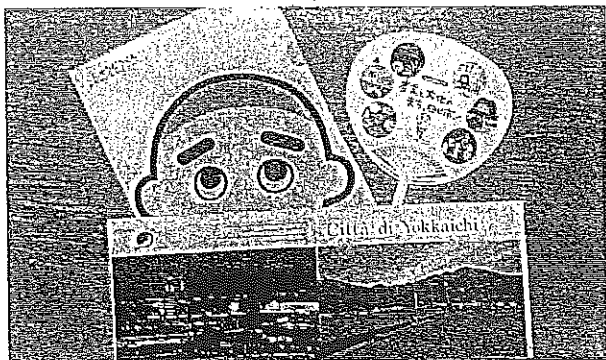
日本館で挨拶する
田中四日市市長



来場者に萬古焼の急須で伊勢茶を振
舞う四日市市のPR

お茶の淹れかたをスクリーンに映し
出しながら説明したので、来場者にも
よくわかったのではないかと。

外国人来場者にも好評だった。



会場で配られた四日市市のPRグッズ
イタリア語のパフレットもある。

(5)ミラノ市内における万博の広報活動について

国際博覧会の国内開催であるが、日本人の感覚からすると万博開催の市内での広報活動は少ないように感じた。

例えば、ミラノ中央駅において万博を周知するようなポスターや横断幕の類は見受けられなかった。中央駅の側にある旧ロンバルディア州庁舎の建物に、万博の広告が掲載されているくらいであった。

確かにこの建物は周辺に比べてかなり高い建物であり周辺からもよく見える位置にあったが、多くの人の出入りする駅構内で万博の広報がなされていないのは意外であった。

一方で市内に複数設置されている貸自転車の車輪部分には万博の広告が掲載されている。これは万博スポンサーのマクドナルド社が中心となって行っている広報活動の一環と思われる。

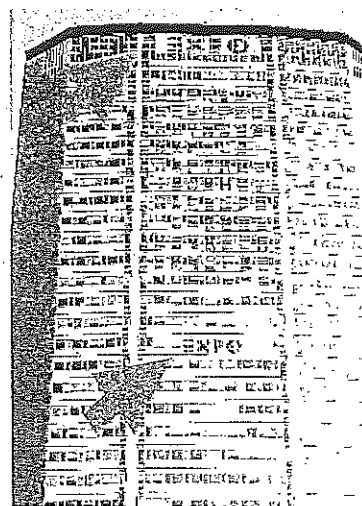
台数も多いうえに、貸自転車は市民も観光客も同様に使用しているミラノの現状を考えると効果的な広報手法といえるが、コカコーラマークに比べて万博マークが小さい後述するようにマクドナルド社と万博の関係性を考えると問題が多い。

全般的に見て広報活動は少ないと思われるが、観光の中心部であるスフォルツァ城からドウオーモまでのダンテ通りは、通りの両サイドが全面万博関連の広報であり、また定期的に世界各地のパビリオンおよび各国の広報の場となっており、ちょうど7月上旬は南京市が広報活動を実施していた。

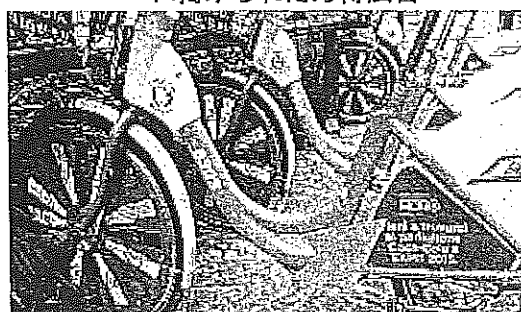
また、ミラノ市中心部から万博会場に向かう出発点となるノルド駅(北駅)は、中央駅に比べて万博のポスターおよび乗換案内での万博会場への誘導路も示されており、地下鉄も万博会場への誘導表示が貼られているなど、公共交通機関での広報活動はなされている印象であった。

総じて、広報活動は「選択と集中」がなされており、市民に幅広く万博を周知するというより、万博来場者をどう誘導するか。観光客にどうPRするかを念頭に置いていたように感じる。

三重県内で今後行われるサミットや国民体育大会、さらには今後の国際イベントの開催を考える際は、どのようなターゲットに周知するか、またその際にターゲットがどのような移動手段を使ってそこまで来るのかを念頭において広報活動を集中させることが必要であると感じた。



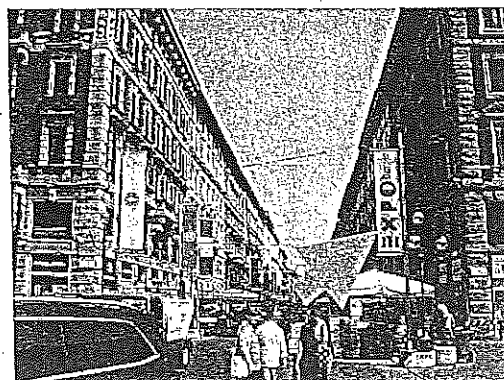
旧ロンバルディア州庁舎
に掲げられた万博広告



レンタルサイクルの万博広告
前輪部にコカコーラ、後輪部に万博の
マークがついている。



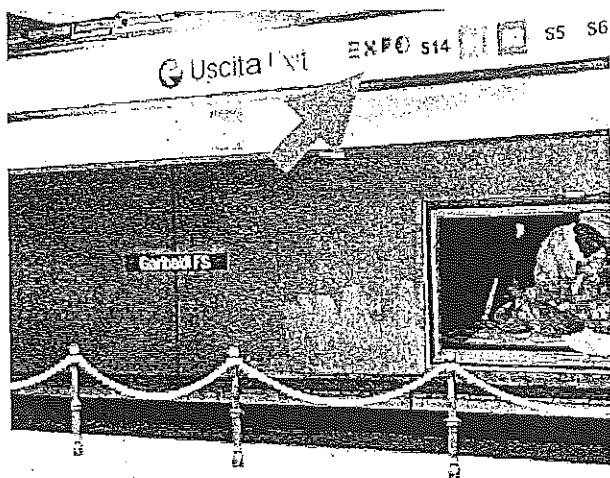
スフォルツァ城前の万博広報ブース



メインストリートであるダンテ通りの万
博広報

付け足しながら、市内のいくつかの場所では、万博開催を反対する落書きも見られ、世界的に有名なドウオーモのすぐ側に落書きがあることには驚きを禁じ得なかった。

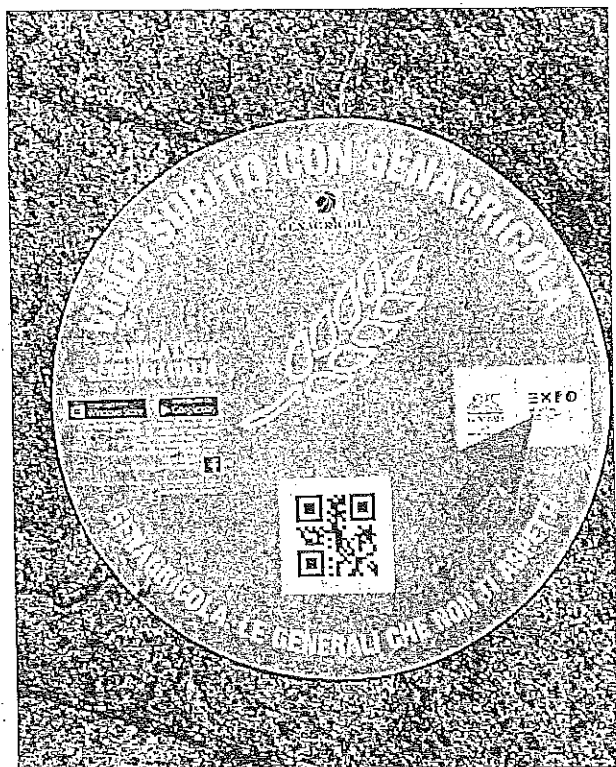
しかも、人目につくところに、大々的な落書きがありながら、消す作業がなされていない。



地下鉄ホームの万博広告
路線案内の隣に掲載され、どの方面にいけば万博会場に行けるか示している。



世界遺産の観光地ドウオーモ(教会)
近くの落書き



マンホール？
地表の蓋にも万博マークが入っている。



ミラノ中央駅近くの落書き

(6)ファーストフードとスローフード ～万博をめぐる矛盾～

イタリアと言えば「スローフード」運動の発祥地であり、今回の万博でもイタリア館とは別にスローフード館が設けられていることから、万博においてこの運動を強くアピールをしているのがわかる。

また、各国のパビリオンでは、その国の食の歴史や食材の紹介、文化的な背景の展示などもなされており、スローフード運動のもう一つの精神的背景である「世界の伝統的な食文化の伝承普及」という側面が示されているように思う。

しかし、一方で万博のメインスポンサーは、マクドナルド社やコカ・コーラ社といったファーストフードを代表する企業である。

スローフードがその名称通り、ファーストフードに対するアンチテーゼから始まったことを考えると、両者が一つの万博に共存していることに対して、違和感を覚えざるをえない。

確かに、今回のミラノ万博は、それまでの愛地球博(日本)や上海万博(中国)に比べて協賛企業が少ないという点があり、開催経費の捻出に苦労したであろうことは想像がつく。そもそも食に関しては、メインサポートできるような大きな食関連企業が少なく、それが可能なのは世界的なファーストフード企業にならざるをえないだろう。

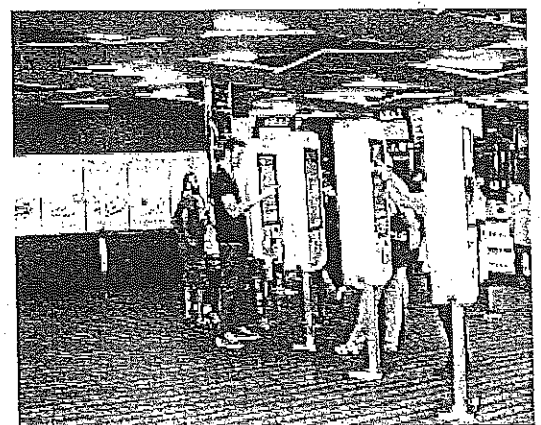
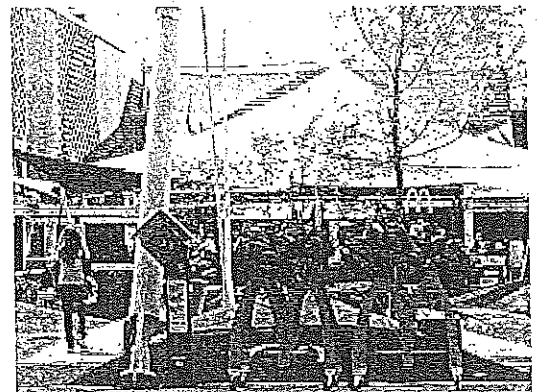
実際、ミラノ万博の企業関連パビリオンは数が少なく、他に目ぼしいのは中国のスーパーチェーンやヨーロッパの大規模農業機械製作会社くらいである。

しかし、コカ・コーラ社のパビリオンはコカ・コーラの過去の商品の展示がメインであり(館内は撮影禁止のため紹介できず)、マクドナルド社に至ってはパビリオンと銘打っているが、中はただの店舗であり、同企業が世界中のお店で販売している同様の商品がちょっと割高で販売しているにすぎず、店内では「ファーストフード会社がスローフードを目指す」という矛盾するPRをしていたが、実質は通常の営業を万博会場で行っているのみであり、注文の仕方がパネル上でできるという未来的なシステム導入が違うだけである。

こうした企業にスポンサーを依存するしかないところに、地元イタリア国民が盛り上がらなかったり、万博反対の落書きが見られたりする原因の一つなのかもしれない。



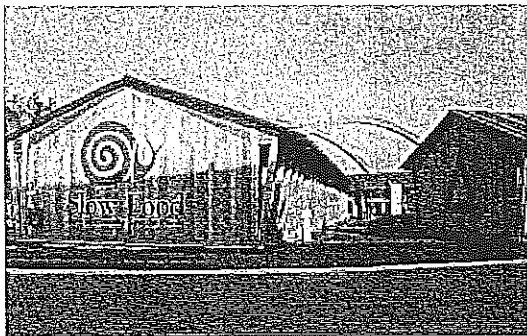
コカコーラ社のパビリオン。
会場北側の端に企業パビリオンが集まっている。



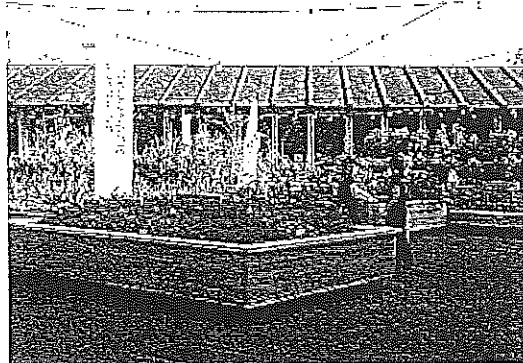
マクドナルドのパビリオン
内部はパネルで注文できるお店
お客は店外でハンバーガーを頼める

とはいえ、スローフードパビリオンに関しては、会場の東入り口に位置し、ちょうどゼロパビリオンが西入口の目の前にあるのと対照的であり、ゼロパビリオンを最初に見た後に、各国のパビリオンを回り、最後にスローフードパビリオンを見ることでこの万博のテーマである「食の多様性」と「近代化への疑問」について改めて確認できるような造りになっているのではないだろうか。

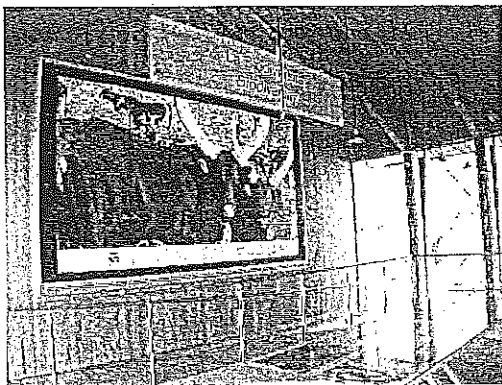
今後三重県内でもサミットはじめ各種国際会議の開催が行われる場合でも、日本の古来からの価値観をしっかりとアピールするには、矛盾しない姿勢が大切であり、外国からの来客に対してもキッチンと自国の伝承を伝える必要があることを痛感した。



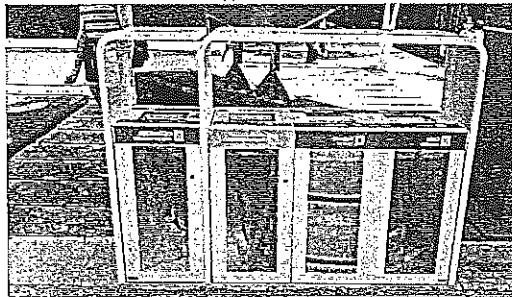
スローフードパビリオン
各国ブースとは別に設けられており、会場の東入口すぐのところの位置している。



パビリオン内部では、伝統的な有機農業の栽培方法が展示されている。



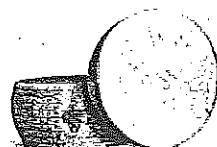
木で造られたパビリオンだが、内部では伝統的な農業・放牧等の様子が紹介されている。



万博会場のゴミ箱。分別が進められるよう透明で中身がわかるようになっている。

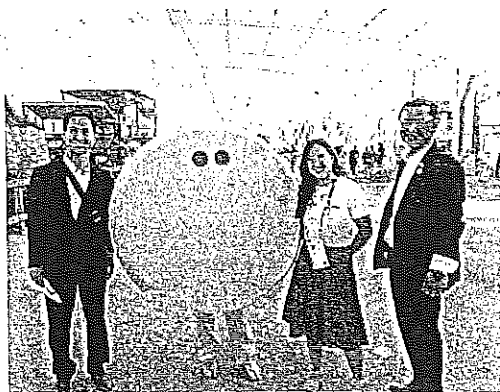
GRANA PADANO:
IL BUONO CHE C'È IN NOI
VI ASPETTA A EXPO MILANO 2015.

Il buon gusto Grana Padano è un bene che tutti hanno, la terra, la sua aria, la sua acqua e il latte delle vacche, non ne facciano il massimo uso per consumarlo al meglio. È importante dunque il gusto e la qualità, in grado di farci stare bene e di farci stare meglio.



EXPO MILANO 2015

万博スポンサーでもある、イタリアチーズブランド GRANA PADANO 伝統的な製法を守っている。



GRANA PADANO 社は日本でいう「ゆるキャラ」を万博に合わせて作成。日本の影響か？

2 日本食のヨーロッパへの展開について

(1)ミラノ商工会議所の役員との懇談

万博会場内には、ミラノ市があるロンバルディア州のパビリオンもあり、そこで PROMOS（ミラノ商工会議所国際関係部門）会頭の Paolo Sacchi（パウロ・サッチ）氏とエリアマネージャーの Raffaello Benetti（ラファエロ・ベネッティ）氏と7月2日16時より懇談した。

以下は、パウロ氏との懇談の中で、彼の発言である。

【ミラノ万博への期待】

ロンバルディア州はイタリアの輸出の30%を占めており、イタリアへの輸入の40%がロンバルディア州を通して行われている。ローマは政治の中心地であり、ミラノは経済と文化の中心地である。

イタリアの人口の5人に一人（約1000万人）がロンバルディア州に在住している。こうした地の利をどう活かしていくか。ミラノはファッションの街として世界中から注目を集めているが、国際的な観光都市でもあるし、観光客の多くは食事を楽しんでいる。イタリアの食文化を発信する基地としてミラノ市も新たな世界からの関心を得たものと思っている。

ミラノ万博を開催する地元としては、小さな企業をどう海外につなげていけるかに気を使っている。また海外から企業進出を増やし、グローバル企業にどうやってミラノ市民を雇用してもらうかも重要な課題だと思っている。

企業からの声かけも増えており、そうした情報をいかに集めて、地元企業への仕事につなげていくか、を考えていきたい。

万博の集客は2000万人を目標としているが、万博はアイデンティティやアイデアを表す場であり、今後のビジネスにつなげる場である。これをきっかけに三重県とのビジネス交流を図っていきたい。

【ミラノ万博を通じた三重県との経済交流について】

日本も日本館だけでなくミラノ市にも既存の企業が進出している。ミラノ商工会議所と三重県とが今後つながっていけばよいと思っている。

ただ、万博進出企業は大企業が多く、実際にミラノ商工会議所の加盟企業との取引に結びつく事例は少ない。しかし、ミラノはもとも見本市会場を持っており、しかも万博会場の側という立地である。

この便利さで、今後は万博開催隣接地としての知名度を活かして、見本市を通じてビジネス交流の取り組みを行ってきたい。

中小企業専用の見本市を今までやっているが、これを続けていくことでビジネスの効果は上がるだろう。

三重県を始め、日本の企業も今後はこうした見本市に参加してほしい。三重県からのビジネスの提案を待っている。

ミラノとしては今以上に日本との取引が拡大することを望んでいる。コンタクトがあれば、積極的にBtoBで話し合っていきたい。

三重県もミラノの見本市にぜひ出てほしい。その際は商工会議所を通してもらえばよい。

私(パウロ氏)が、商工会議所の会頭として、専従で働いている。

年間 80 の見本市があり、5 月は食の見本市である。もし次回見本市を見学したければ、商工会議所としてもサポートしたい。ミラノの見本市はヨーロッパで一番注目を集める見本市の一つであり、ヨーロッパ中から集まってくる。今後の開催予定はホームページで確認することもできる。

【日本食への期待】

日本食は、イタリアでも広まってきており、最近のイタリア料理には、日本料理にインスピレーションを受けたと思われるものが多い。例えば、しそ、かつお、こんぶといった食材も使われていたりする。

一方、お酢や味噌はあまり受けない。しかし、わさび、ゆず、レンコン、しょうが、みょうがといった薬味は人気になっている。

例えば西洋わさびのサラダが人気になっており、メインの食材というより薬味に注目が集まっている。

ロンバルディア州の一番の生産量を誇る農産物はリゾット用のコメである。その次は、牛乳、チーズ等の乳製品、ワイン、小麦等が作られている。野菜は自給用につくられているのが多く、むしろイタリア南部の方が野菜生産は盛んである。

三重県の食や肉には興味がある。



万博会場、ロンバルディア州パビリオンでの懇談風景。



ミラノ商工会議所の皆様と
中央のスーツ姿の左がパウロ氏(商工会議所会頭)
右がラファエロ氏(エリアマネージャー)

(2)日本とイタリアの貿易について

7月2日18時から、JETRO(日本貿易振興機構)のミラノ駐在のスタッフと懇談し、日本とイタリアの貿易の可能性について意見交換をした。

参加者は、JETRO ミラノ事務所から所長の温井邦彦氏と山内正史氏が参加。

さらに、在住民間企業代表として、阪急阪神物流株式会社の猪俣薫氏に出席いただいた。

以下は、その時の懇談内容である。

【イタリアと日本の経済交流】

イタリアから日本への輸出は、革、被服(洋服)、食品(メインはワイン)が主な商品である。

イタリアの日本からの輸入は、自動車やコピー機をはじめとする事務機器が主なものである。しかし、意外に輸出入のNo1の製品はいずれも化学品である。

イタリアに進出している日本企業数はそれほど変わらないが、合理化やIT化により駐在員の数は減ってきている。

現在、イタリア全土の日本人駐在員は280人程度である。しかし、日本人家族もいる場合もあるし、何より留学や観光通訳などでイタリアに滞在している日本人も多く、1万人以上の日本人がいるのではない。

3か月以上滞在している日本人の数は公式には12000人程度、そのうちミラノを中心としたイタリア北部に7000人、南部に5000人程度である。

JETROは、以前ローマにも駐在を置いていたが、今はミラノのみである。

イタリアは今自国の産品を日本やアジアに積極的に出そうとしている。

アメリカはイタリア食ブームが起こっているが、これはイタリア系移民がいた歴史も関係していると思う。一種の郷愁の感じで何年かに一度ブームがおこる。

【イタリアでの日本食ブーム】

今、イタリアでは日本食に対する関心が高く、既にミラノ市内でも日本食のレストランは増えてきている。当然日本からの食品なども受け入れる余地はあるだろうが、食習慣や食の嗜好の違いには気を付ける必要がある。

例えば、日本の乳製品はにおいが無さすぎるので、イタリアでは好まれないだろう。

牛肉も、いわゆる「霜降り」は脂っぽくて受け入れないだろう。赤肉が好まれるため、和牛のA3クラスの牛肉の方が、イタリア人の好みに合っているのではない。

イタリア特にロンバルディア州の主要農産物の一つに米がある。日本のジャポニカ米ではなく、ジャバニカ米と呼ばれるものである。田植えでなく直播き方式であり、機械式で刈り取っている。

日本コメより大きく粘りが少ない特性があるが、イタリア料理に欠かせないリゾットに向いた品種である。しかし、イタリア国内ではコシヒカにも生産されているとのこと、多くは日本食レストランに向けて出荷されているとのことである。

ミラノでは日本食レストランが 200 軒ほどあるそうだが、多くは中国人の経営であり、日本人の経営は 10 軒程しかないそうである。

中国人はアジアやアフリカ、地中海地方から豊富に日本食に似ている食材を探してきてレストラン経営をしている。日本食の代表の寿司店も中国人が米から海産物まで調達して経営している。但し、日本人からすると本格的とはいえない。

【イタリアと日本の食料品の貿易】

日本から食品を輸入するのは価格面でも高いのと、EU の厳しい検疫規制があり、すぐには難しい。

しかし、イタリアを始め EU 諸国の皆さんの舌が肥えてきた時に、本物の日本食のブームが訪れる可能性があり、その時期には日本の食材も市場に出回ることができるのではないかと。

現に、日本酒は「Japanese rice Wine」として、イタリア・フランス・スペインなどのワイン消費国に PR しており、特にフランス料理との相性の良さから需要が伸びていると聞く。

イタリアは農業国であるが、やはり国際競争に負けている分野もあり、立ち行かなくなっている。

アフリカなどから安い農産物が入っているし、コメにしてもベトナム産米などが入ってきているので、イタリア料理に使うコメもそちらが浸透してきている。

イタリア国産のコメの価格は 25Kg=13 ユーロ程度である。

EU の共通農業政策として、コメ農家に対して所得補償をするなどの支援策を講じて農業を守っているが、農業法人を作ってコメ以外にトマト等を作るなど多角経営を進めている。

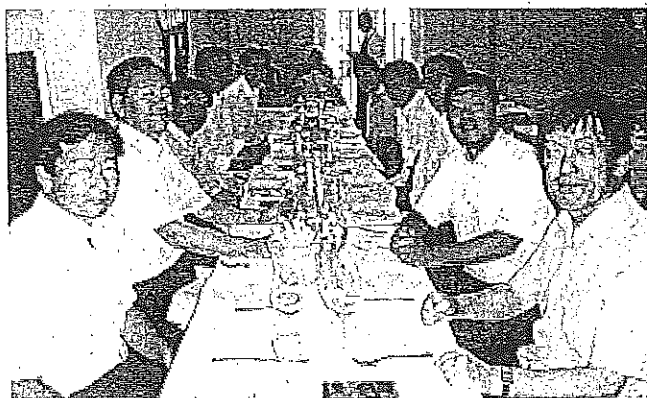
日本への輸出の中でもワインは人気商品であるが、40 フィートのコンテナでだいたい 6000 本入るがこうしたコンテナが人気で輸入食料企業が大量に購入していく。

物流においては、①日通、②近鉄物流、③日本郵船、④阪神阪急物流の順番でシェアがある。

【イタリアの伝統工芸品振興策】

伝統工芸としてのヴェネツィアガラスは、ガラス工房は零細企業が多いので、州政府からの支援策もある。主には、後継者を探す手伝いと工房の観光化への支援である。

今は、東欧の観光客にヴェネツィアは人気であり、こうした観光客に支えられている。



ミラノ駐在の日本人ビジネスマンの皆さんと。

(3) 三重県産品のテストマーケティングについて

【テストマーケティング会場概要】

ミラノ市郊外の CASINA CUCANA という商業施設において、6月24日から7月7日まで毎日15時から21時まで「三重 WEEK」と銘打って、三重県産品のテストマーケティングが行われるので、視察した。

この商業施設は、2階にイベントスペースがあり、1階はレストランやショップがあるなど複合的な施設となっている。

ここを全館利用して三重県産品の紹介と販売を行おうという試みである。

和菓子、伊勢木綿、弁当箱の「尾鷲わっぱ」など35業者が参加した。業者によっては、県の補助金を使って、イタリア語に翻訳したパンフレットを作ったところもあった。

また、会場には尾鷲市から大漁旗が飾られるなど、三重県の雰囲気を出そうしていた。

【交流レセプション】

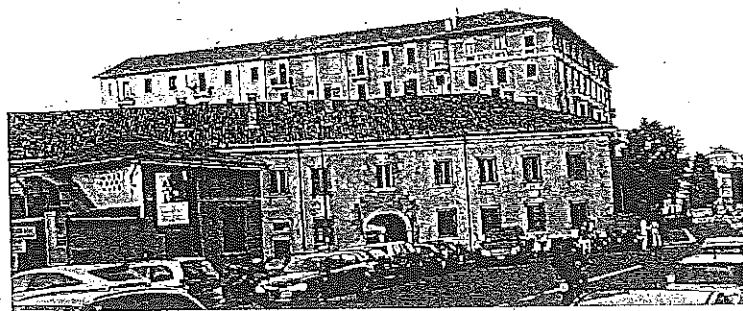
7月1日20時から、県とミラノ市民との交流レセプションがあり、鈴木三重県知事や午前中に万博の日本館でデモンストレーションを行った相可高校の生徒と徳岡料理長も参加した。

ここでも、三重県とサミット開催のPRビデオを流し、知事の挨拶のあと、生徒と徳岡料理長が料理の説明を行い、日本食を紹介した。

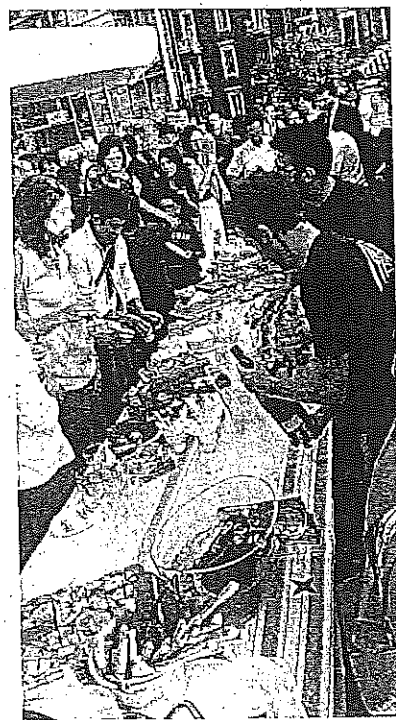
今回は場所が狭いこともあり、調理は事前に厨房内で行い、それを来場者の前に披露するという形がとられた。

会場には多くの人が集まり、ミラノ在住邦人も訪れてくれた。ただ、イタリア人関係者の参加が少ないように感じた。

加えて、レセプションを1階レストランで行ったが、レストランの通常営業の客に対するPRという点では、配慮に欠ける点があった。レストラン奥で開催をしていたため、通常の客には何をやっているのか、何の集まりなのかが今一つわからない状態になってしまった。



テストマーケティング会場
流行に敏感なミラノ市民が集まる場所
という触れ込みであったが...



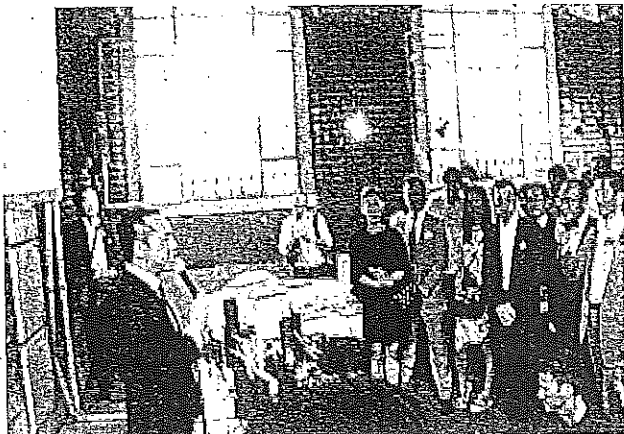
会場の2階では、三重県産の日本酒の紹介があり、イタリア料理との相性をテストしていた。概ね好評をいただいたようである。

全体の会場のレイアウトをよく考えるべきであり、日本人関係者は後ろに控えて、イタリア人の一般客の前でプレゼンをする段取りがよかったのではないと思う。

今後の海外での三重県並びに三重の食材のPRには、効果的な手法を考えるべきである。

一週間行ったテストマーケティングについて、参加した伝統工芸品の業者2社に、帰国後効果等を聞き取り調査した。その結果、相反する2つの意見があった。

四日市市 うちわ製造業者	・日本館の展示、テストマーケティングともに大変反響があった。 ・来場者からは引き合いが続き、特に日本館では販売ができないにも関わらず、「売ってくれないか」「売ってくれないならどこで買えるのか」といった反応が相次いだ。 ・テストマーケティング会場では販売できたが、よく売れた。 特ににおい付きのうちわが評判がよく、今後の海外展開について自信が持てた。
四日市市 陶磁器製造業者	・多くのお客が来るということであったが、期間を通して来場者は少なかった。 ・テストマーケティング会場を準備するのが、現地のイタリアの商社ではなく、中国系商社であったため、会場内部の使い勝手が悪く、また集客力もなかった。 ・陶磁器は重いので、なかなか買ってくれるまでには結びつかなかった。 ・急須や土鍋等は食器であり、実際使ってもらうシーンを再現できなければ、販売に結び付けることは難しい。その点では展示の仕方をもう少し工夫してほしかったが、調理ができる環境になかったのは残念であった。



鈴木知事の挨拶

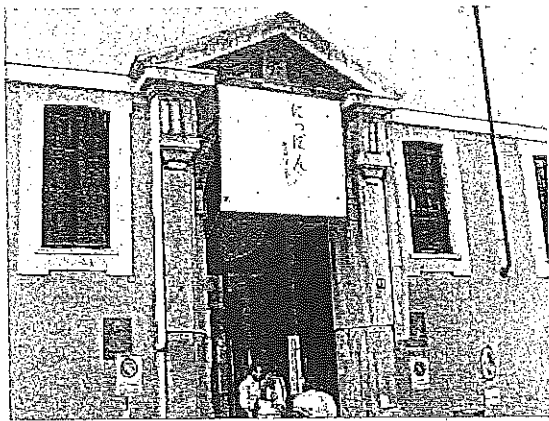


徳岡料理長と相可高校の村林先生と生徒

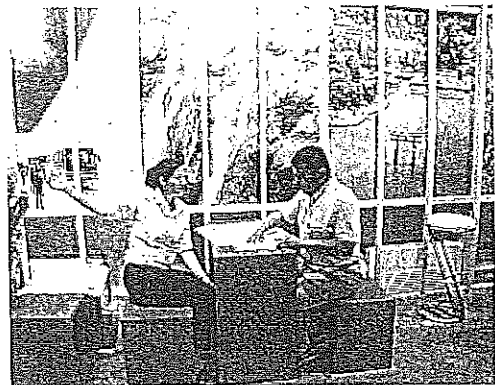
(4)「にっぽんサローネ」での日本 WEEK について

ミラノ市内の中心部からやや北西に行った場所、有名なレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」の壁画のある、サンタマリア・デッレ・グラツツェ教会の向い側にある商業施設である、P ALAZZO DELLE STELLINE(パラッツォ・デッレ・ステレン;元々宮殿であった)で、観光庁が「日本 WEEK」を実施していた。

「日本 WEEK」の期間内「にっぽんサローネ」としてミラノ市民に開放し、広く日本の文化や日本食をPRしていた。



にっぽんサローネの会場入り口風景



サローネ内の観光ブースで折り紙体験
外国人スタッフから習う不思議さ

【サローネ内の概要】

7月3日16時から、視察団一行は日本の海外発信の状況を視察した。

玄関すぐ右手には、外国人向けの日本文化紹介ブースがあり、そこでは折り紙や新聞紙大の大きさの紙で作る「かぶと」の体験ブース、武家風のかつらや着物の着付け体験のできるブースであった。

イタリア人スタッフが常駐し、折り紙のおり方や着付けの手伝いをし、日本の観光庁からの委託を受けた日本人スタッフが日本への観光PRを行っていた。ちょうど7月の時期は東北観光のPRがなされていた。

その奥では、中庭を取り囲むように四角い廊下があり、四面それぞれに小部屋があり、その四部屋で時期に応じて、地方自治体の紹介や各種生産団体の日本食の紹介を行っていた。

訪れた7月3日は、岐阜県高山市と和菓子組合が出展をしており、和菓子組合はかりんとうの作り方の料理教室を開催していた。

【高山市の観光誘客への取組】

高山市役所の職員がブースを担当していたので、話を聞くことができた。

以下は、そこで聞き取ることができた話である。

今回の高山市のブース出展は6月30日から7月6日までの一週間である。

高山市では、年4回ほど海外のイベントに出展している

今年度は7月のイタリア、9月のオーストラリア、12月のフランス、2月のイスラエルだそうで、地方創生に関する補助金を使って出展しているとのことであった。

出展する地域はなるべく他の地方自治体が出さないようなところを狙っているそうである。

それは、どこ地域でも日本の伝統や文化に対して興味があるところが多く、そうした地域にとって初めての日本の地方自治体ということで勧誘することで誘客しやすくなるからである。

興味を持ってもらった海外の地域からは、市の職員がマンツーマンで連絡・応対して、日本に連れてくるそうである。

その際、FAM(海外の旅行代理店)をビジネス目的の視察で連れてくると100万円近い経費が掛かるが、客として観光のついでに連れてくると10万円くらいで来てくれるそうである。

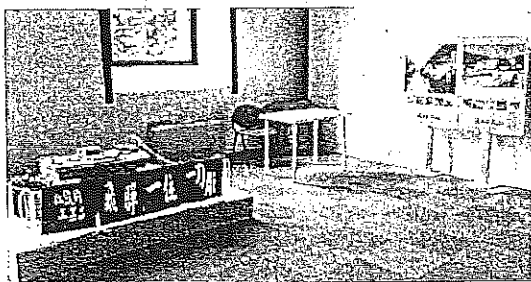
ニューヨーク等の大都市でも、現地の旅行会社はツアールートやありきたりで紹介しつくされた観光地に飽きがきており、新しい観光スポットや効率のよいルートを探しているそうである。

そういう点では、日本のあらゆる地域が海外誘客の可能性があり、高山市も北アルプス等の周遊とセットで売り出そうとしている。

欧米の客は、最短で10日、長いと1ヶ月くらい滞在してくれるので、多くの周辺地域も巻き込むことが必要であるとのことだ。

高山市では、産品輸出もしており、海外誘客と輸出はセットとしてとらえており、観光地として知名度が上がり始めるとビジネス関連の視察も受け入れたりしている。

これまで高山市では、メディアと産業関連の視察で800人くらい受け入れたそうである。



高山市のブース
伝統工芸品の高山一刀彫の実演も実施
隣は、日本のマンガが並ぶブースもあった。



Cos'è DENSAN
About DENSAN

Trial and DENSAN



日本の伝統工芸品を紹介するパネル

【総評】

こうした話を聞くと、三重県も十分に海外からの誘客を呼び込める可能性を持っており、さらにその誘客先は偏見を持たずに、世界中から探してくる必要性があると感じた。

現在観光庁からも認定を受けた昇竜道プロジェクトとして高山市と連携する必要性は高いし、これに甘んじることなく、京都・大阪等の近隣府県との観光ルート開拓の可能性を探っていく必要があると感じた。

また、海外での自分たちの街の紹介に関しては、高山市のセンスが参考になった。

伝統工芸品も作品を作るところから実演をしていたり、市内の観光地の何気ない日常風景をパネルにしたりするなど、その地域の雰囲気や少しく感じられるような工夫がなされていた。この点については、前述の三重県のPRブースよりも狭いながらも工夫が詰まっている。こういった点をPRすることが外国人に受けるかという、受け手発想の手法である。

三重県や四日市市のPRは、こちらの発信したい事ありきで、相手に響くかどうかの検証が不十分に感じたので、今後はこの点に気をつけるべきであろう。

3. イタリアの農業政策について

(1) ミラノ市の公設卸売市場視察

7月2日9時から、ミラノ市の中心部から12Kmほど離れた場所にある、ミラノ市公設卸売市場を視察し、職員の Giovanni Greco(ジョヴァンニ・グレコ)氏から話を聞いた。

【卸売市場の概要】

卸売市場内は4つの部署に分かれており、中央に農家が出荷してくる農産物を保管している場所、その左右に卸売業者が仕入れて保管している場所(それぞれの卸売業者の倉庫が並ぶ)、さらに世界中から食材を仕入れて保管している場所に分かれている。

卸売市場は、株式会社形式であるが、株の99.9%はミラノ市が所有しており、残りの0.1%は銀行などの金融機関が持っている。経営に関する理事会メンバーにミラノ市のメンバーも入っている。現在112か国と取引がある。市場の中の卸売業者にはアラブ地域や中国の会社も入っている。

この市場は1964年の開設である。1980年代まではヨーロッパの市場の中では一番の取扱量を誇ったが、現在はEUで2番目である。

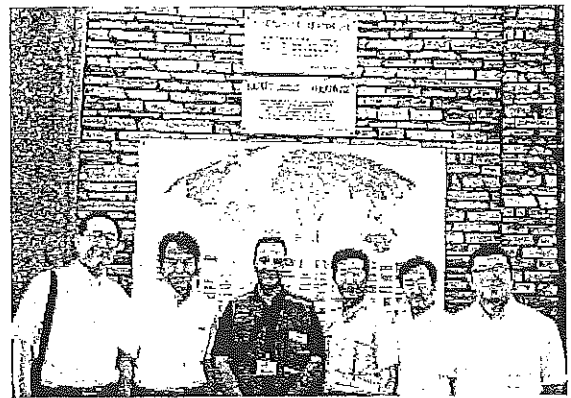
現在のEU内での食品取扱量は、スペインの卸売市場が1番である。

スペインでは、マドリードやバルセロナなどに新しい卸売市場があり、そうした最新の卸売市場は、電気・光熱代の効率がよく、照明なども一部LEDを使っているそうである。

また最新式の市場では、トラックの荷台へ直接市場内からフォークリフトが入れるように段差を設けてあり、作業効率が3分の1で済むそうである。

こうした競争に負けないように、改めての整備の依頼をミラノ市にしている。

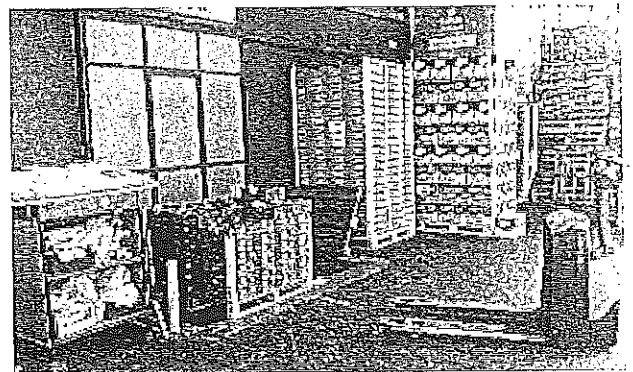
市場の年間売上は15億ユーロである。ヨーロッパの大都市はどこでも市場があるので、スペインだけでなくそうした市場との競争が激しくなっている。



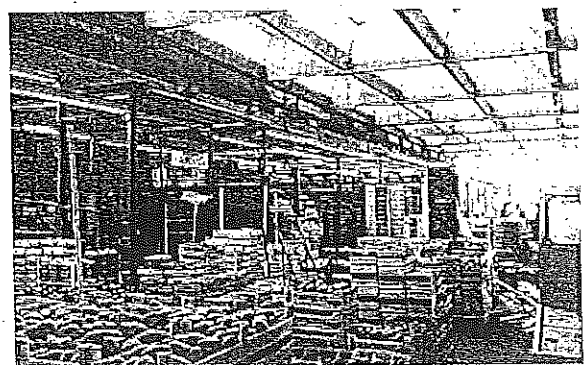
公設市場入口で、内部を案内してくれたジョヴァンニ氏と



ミラノ卸売市場と大阪の黒門市場は姉妹契約を締結している。



日本の卸売市場と雰囲気は似ている。荷降ろしがトラックから直接できないので、効率が悪い。



市場内部は採光窓もあり、広くても明るい。

施設は最新式になかなか建替えできないが、流通システムはIT化を進めている。

入出荷システムはこれまで一つ一つコード入力していたが、バーコード形式に変更中である。また、支払いも全て銀行口座を使った取引にしており、市場内で現金取引はないようになっている。そのため、卸売市場内で取引できるのは、税務コード(EU 共通)を持っている会社のみである。

セリは朝 4 時から行われ、特に 4 時 30 分から 5 時くらいに客が集中する。日本よりセリの時間は早い、これはミラノ市周辺では 8 時ごろから朝市を始めるため、それに出展する業者が訪れるためである。9 時以降に市場に訪れるのはスーパーのバイヤーなど業務用の客が多い。

毎週土曜日の午前中は一般の人でも入ることができる。9 時から 12 時まで開放しているが、そのあと閉場するために、40 人の職員で一斉に退出させるようにしている。

なぜ土曜日に開放するかというと、日曜日は市場が休みであり、古くなった青果物を土曜日でなるべく空にしたいため、一般の人に安くでも売るようにしているらしい。

イタリアは貧困層が多いので、一般の人の中には、市場で捨てられる野菜果物等を拾っていく人たちも多いようである。

【イタリアの食品流通の現状】

イタリアの付加価値税(日本の消費税に相当)は 22%だが、食品などの日常品は 4%に抑えられている(いわゆる軽減税率を導入している)。

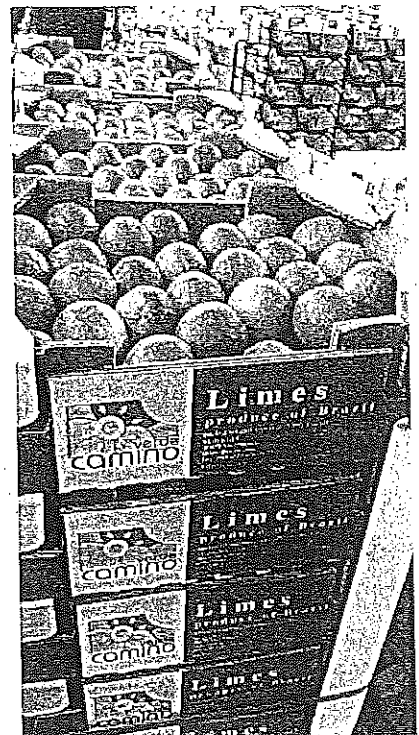
世界中の食材調達先としては、スイス・セルビア・ユーゴといった東欧・中欧諸国から買うことが増えているが、セルビアにはロシアからの食材も多く入っており、イタリアがそれを買うことでロシアに対する経済制裁(輸出入の禁止)の抜け道になっている。

イタリアの食材はトレーサビリティがしっかりしていて、それを管理するのも市場の重要な役割の一つである。

一年を通して取引量は多い、それは世界各地から食材が集まるからであるが、その中でも集荷のピークは 12 月である。

市場の中には、小売組合や農家組合など 3 つの組合がある。魚市場はミラノ中央駅の近くにあり、ここは青果のみである。

また、市場の動きや相場を知っている市場の運営会社が青果物のおおよその価格帯を決めていて、〇〇円～〇〇円までというように売買できる範囲を決めている。



市場に並ぶブラジルから届いたライム。

【卸売会社の現状】

ALAMA 社という卸売会社の一つの社長である、Alberto Albuzza(アルベルト・アルブツツァ)氏からも話を聞くことができた。

この市場の構造では、卸売会社のスペースは、2階と地下(冷蔵庫)の3階建て構造になっている。

毎月の売上高は 200 万ユーロ(約 2 億 5000 万円)になる。従業員は約 40 名程度である。

スーパーなどが主要取引相手であり、エッセルンガ等の EU 各地のスーパーがお得意先である。こうしたスーパー等と取引する卸売業者が増えたため、日曜日も卸売市場を一部開場するようになってきている。



公設市場内で卸売会社が並んでいる。
奥にあるのが ALMA 社

日本からの食材も扱うかという質問に対して、やはり青果物は鮮度が売りなので、航空便になってしまいが、そうすると日本の価格が高すぎて採算が合わないのではないか、ということであった。

マグロなどの日本の相場はイタリア国内の商品の 10 倍くらいだそうだ。

アフリカや東欧などの国の食材はやはり日本に比べると格段に安く、イタリアで食べられている日本料理店の魚はこうした国から輸入しているものも多い。

ただし、キッコーマンはこの市場でも取引している。同社は 20 年ほど前から欧州内に工場を設けて、EU 圏内で商売をしていたそうである。

アルベルト氏は、卸売市場の卸売業者の組合の会長を長く務めていたので、市場でも多くの人から慕われている。早くリタイアして世界旅行に行くのが夢だと語り、日本にも行きたいと語っていた。

(2) イタリアのアグリツーリズム農場視察

7月3日9時から、ミラノ市中心部から20kmほど離れた Cascina Caremma(カッシーナ・カレンマ)というアグリツーリズムを経営する多角的な経営農家を視察した。

農場の経営者である、Gabriele Corti(ガブリエル・コルティ)氏から説明を受けた。

以下はその説明である。

【農園の概要】

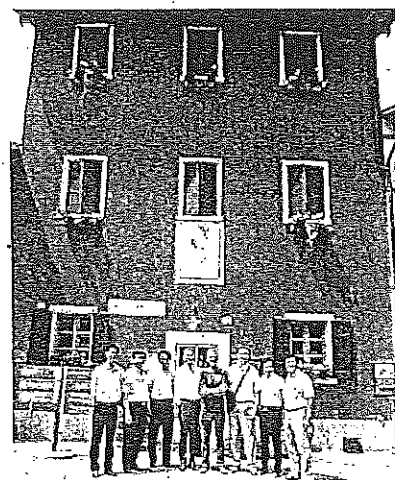
農場は戦前からミラノ市在住のオーナーが所有していて管理人が一番高い建物に住んで農場を管理していた。今は、私が買い取って経営している。

1800年代は100人程度の使用人が働いており、100haの農場があった。赤いメインの建物の木の釜でパンを焼き、暖を取っている。

毎週木曜日にイベントとして、当時の方式でパンを焼くイベントを行っている。このメインの建物から向かって右がキッチン、左がダイナーになっている。

この建物は2階に6室と外に8室あり、そこを宿泊施設に使っている。

25年前からアグリツーリズムをやっているが、なるべくオリジナル(「昔からの手法」の意味)に近づけるようにしている。



農園のメインの建物の前で

畑の周辺は1800年代の風景に戻そうとしている。トウモロコシや麦などを輪作しているが、一部で2003年からブドウの栽培も始めている。

ピエモンテから30kmくらいの距離なので、そこからフレーザーという品種を探してきて栽培している。難しいと言われていたが、当時生産していたからここでもできるはずとやり抜き、今ではまったく栽培に問題はない。

ここで栽培するブドウや他の果物でジャムを作りたいが1800年代に作っていた製法を調べて再現している。この農園として19世紀に何を作っていたかが大切であり、品種も当時のものを調べており、それを植えていきたい。

「身土不二」の考え方に大変共感しているが、なによりその土地に合って栽培されていたものを再びこの地で栽培していきたい。

ただ、建物の床はテラコッタだったが新しくタイルにしている。歴史を感じさせるためなるべく残すが、現在のものの方が機能的な場合はそうしている。



穀物倉庫を改装し、1階はスパ
2階はミーティングルームにしている。

【アグリツーリズムの概要】

ガブリエル氏は、1984 年ミラノ大学で博士号をとって農業経営を勉強した。

その後 4 年間 4 か所の農場で技術を勉強して 1 年間大学でも研究していた。

ちょうどその時にこの農場が売りに出ているので、買ってオーナーになり、1988 年から農園をオープンしている。

1994 年にアグリツーリズムのグループ(日本でいう業界内の組合のようなもの)を作り、そのプレジデント(リーダー)になった。

アグリツーリズムは、2000 年頃にロンバルディア州が奨励し始め、州から依頼されて、アグリツーリズムのコミッション(協議会)のトップになって、アグリツーリズムの農園経営の基準作りをした。

その時は 4 名の農場オーナー(州内の 4 つの地域のそれぞれのリーダー)と 2 名の州から派遣された専門家の 6 名の委員で始めた。今は、州の 4 つの地域で約 1000 か所のアグリツーリズムをやっている農場がある。この地域でも 350 か所で行われている。

この農園では、通常の農園と異なり、ミーティングルームも設けている。

メインの建物の向かいにある穀物倉庫の 2 階を 250 m² くらいの広さのミーティングルームにしてプロジェクターやスクリーン、オーディオ装置を完備している。

100 人規模の来客が来ても対応できるようにしており、会社の研修などによく利用されている。

ここでの宿泊や食事は予約制になっている。

イタリアでは、農地にしていないと税金がかかるため、平地の空いている土地でもパルプ紙用に使う木材を植林している。

水も自分たちで引き込むし、農村であっても WiFi を完備している。

経営の安定化のために、なるべく商品力のあるものを作るようにしている。特殊な商品であれば各地から来客してくれる。

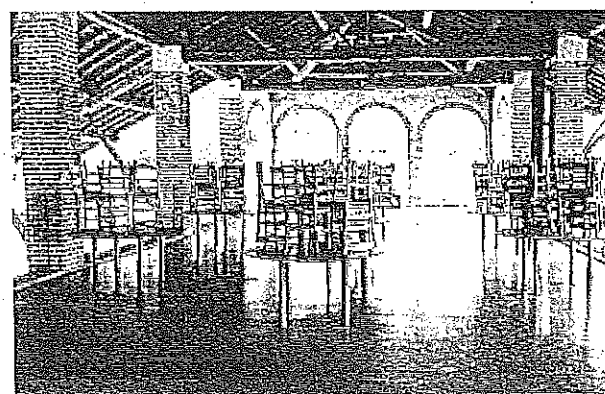
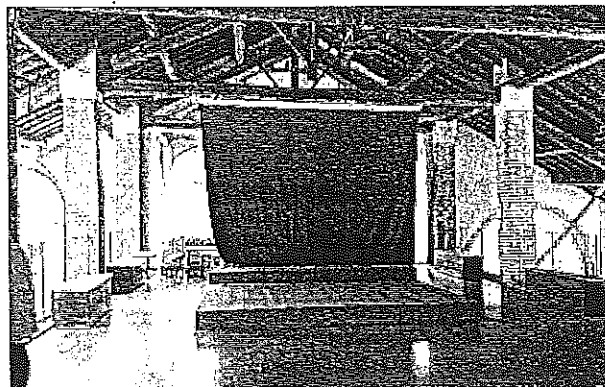
今はボスニア・セルビア・ドイツといった所から宿泊に来る。イタリアの学校はじめ各国から子供の合宿などもある。

また、ロンバルディア州議会の訪問視察も受け入れたことがある。

来週(7 月 10 日)には、ある銀行のマネージャー達の企業合宿がある。

企業研修もできるようにミーティングルームを整えた。

他にこだわっているのは、イタリアの農場の歴史を語れるような施設づくりを心掛けていることである。



食物倉庫の 2 階

ミーティングやパーティができるように床を改築し、プロジェクター等も使えるよう整備しなおしている。

敷地内には施設の歴史を紹介するパネルが 50 枚掲示しているが、全て私が作成したものである。

この周辺は 1200 年代から入植が始まり、チーノ川周辺の修道僧が開拓を始めた。この農場でも一番古い建物は 1600 年代に建てられたもので、それ以外は 1800 年頃に建てられた。

【スパ事業概要】

スパも 2005 年頃は誰もやっていないのでやり始めた。

200 万ユーロをかけて穀物倉庫の 1 階を改修したが、州の補助金として 7 万 5000 ユーロがでた。これは返さなくてよい補助金だった。

2006 年にスタートさせてからは、だいたい年間 1 万人多い時で 2 万人来場してくれた。農園のスタッフも 6 名から、1 年間で 15 名に増えた。改修費用も 10 年間で完済することができた。

このスパは、月～金は主に女性が多く、週末はカップルで賑わっている。

料金は 2 時間で 35 ユーロである。

ミラノ市内からなら、交通費も含めて 60 ユーロ程度で利用できる。

スパの基準作りの際も、当時スパをやっているのがうちだけだったので、この施設でやっている内容が州のスパの開設基準となった。州の権限でできるのは有利だった。

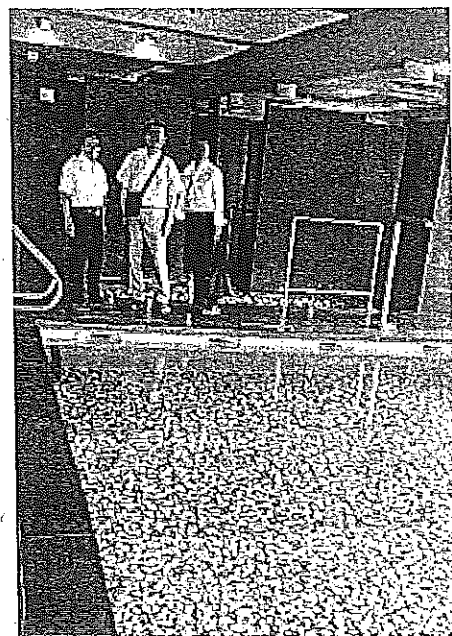
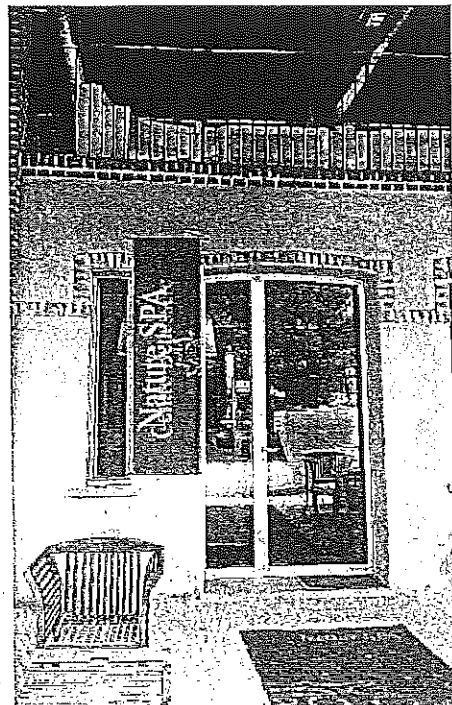
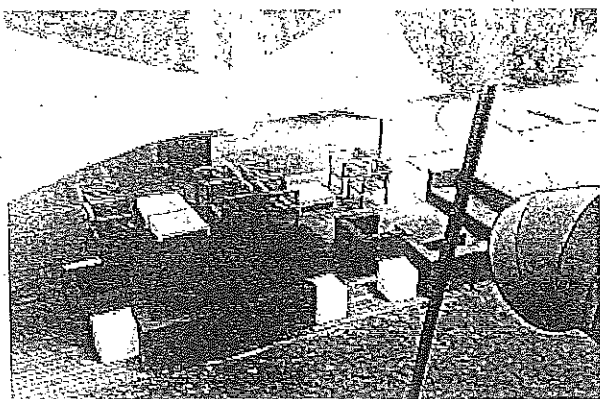
温泉が出るわけではないので、普通の水を温めている。

ズッカのマッサージなどを取り入れている。

スパは、穀物や豆類、森の果物などを使っている。

また、マニキュアのような化学的なものを使うのは、ここでは禁止している。

アグリツーリズモのスパでは、その地域のものを最低 50% は使うように基準作りをしているが、スパも自然の中で行うようにしないといけない基準になっている。



倉庫の 1 階のスパ
プール、マッサージスペース、シャワーなどが完備されている。
水深 1.5m のプールもある。

スパは屋外に出られるようになっている。
スペースの奥には、ブドウや野菜の農園がある。

【畜産の取組み】

ロンバルディア州では、アグリツーリズモの農場を持つ場合は 35%以上の土地が自分の所有でないといけない規則になっている。

1800 年代の農場時代は 100 頭の牛を飼育していたようである(記録から調査した)。1970 年代に牛の飼育も始めたが、すぐに EU の共通農業政策において、各国の牛の飼育頭数の調整が始まり、自由に飼育ができなくなったので牛は飼わなくなった。

しかし、また再び数頭を買い始めた。今後少しずつ牛の飼育も増やしていきたい。

数頭の牛はいるが、今は乳製品を作っていない。

昔は牛乳の搾りかすを豚の餌にするなど循環畜産もしていた。共通農業政策で搾乳が権利になり以前の農場の所有者が搾乳の権利を売却して EU から補助金をもらった経緯があり、もう一度搾乳の権利を手に入れるには購入しないとけない。

現在交渉中だが、新しく手に入れるのはかなり難しい。

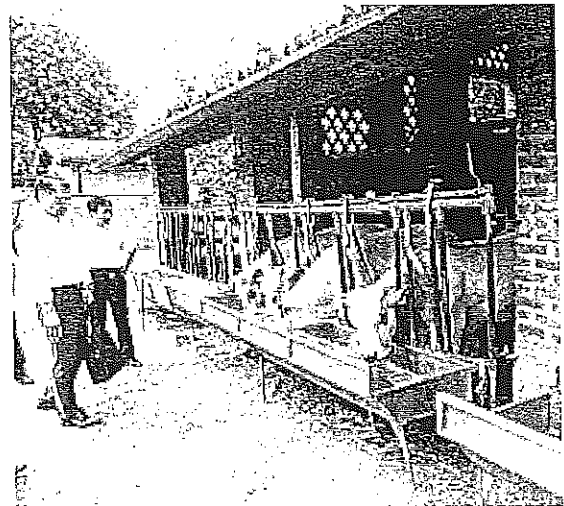
当時の牛舎は穀物倉庫の 1 階にあったが、スパ施設に改造した。チーズの加工工場もあったが、サラミ工場に変えた。

現在、観光用であるが、牛を数頭飼育している。

ファソーナ・ミオメンターネという食肉用の牛種であり、肉として使える部分が多い。牛はピエモンテで子牛から大きくして、こちらに移してきた。今は一年間に 25 頭くらい買って、出荷している。

スパのプールの前に牛を放牧し、それを観光用にスパの客に見せている。

この牛は、近くで「と殺」して農場の宿泊客に提供している。この農園では、ほぼ自給自足ができています。



観光用と食肉用に飼育する牛

豚の飼育は 10 年前からで 30 頭くらい飼っている。

放牧しているが、十分なスペースを確保することが大切である。ここでは、豚 1 頭につき、400 m² くらいの広さを確保している。

慣行飼育の豚は病気にならないように抗生物質を与えるが、ココは必要ない。

乾し草や農場に生えている草を食べている。豚の放牧場の 2 分の 1 を開放して残りの放牧場は一年間豚を放牧せずに休ませている。

豚の餌をとなる草が生えてくるが、連作障害を防ぐ目的で 1 年間休ませる。

豚の飼育頭数は調整しているが年末には 100 頭くらいになる。

豚はと殺してサラミの材料にして販売したり、宿泊客に提供したりしている。

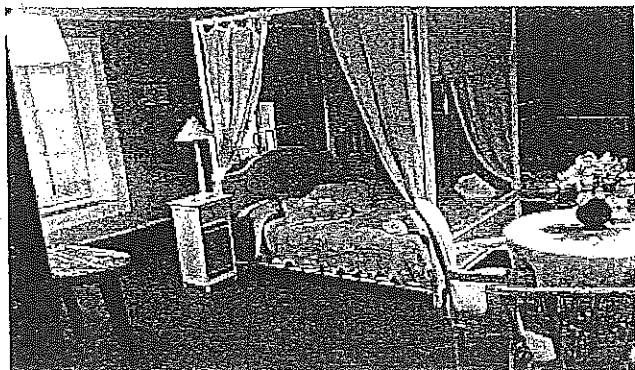
鶏やアヒルなどの鳥の飼育も 2005 年まで 100 羽くらい飼っていたが、鳥インフルエンザの蔓延もあって、飼育をやめた。どうしても放牧したかったので、インフルエンザが拡散する恐れがあったからである。

【有機農業への取り組み】

周辺ではコメと小麦を栽培している。大麦や大豆、グリーンピース等も栽培しており、こうした作物を4年で一周するように毎年別のものを植えている。これも連作障害を防ぐためである。密植しているため雑草もあまり生えない。

この農園を手に入れて以来有機農業に力を入れ始め、27年になる。日本の福岡正信さんの有機農業を参考にしている。

稲藁なども積んでおいて、豚や牛の放牧場や畑に鋤き込んだりしている。



メインの建物の2階は宿泊部屋に改装している。
1泊120ユーロ(一室2名)
1名追加につき40ユーロ追加



レンタルサイクルも用意されている。

4. ヴェネツィアサミット開催について

【ヴェネツィアサミットの概要】

1987(昭和62)年6月8～10日に開催した。

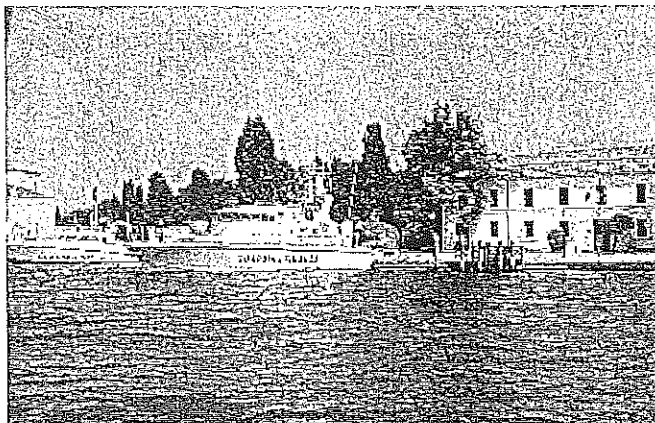
日本の当時の首相は竹下登首相である。

テーマは、世界経済の動向、途上国開発および環境問題である。

会場は、ヴェネツィアの中心部から運河を挟んだサン・ジョルジョ・マッジョーレ島にある、同名のサン・ジョルジョ・マッジョーレ教会で行われた。



サミット会場となった、マッジョーレ教会
周囲800mほどの小さな島である。

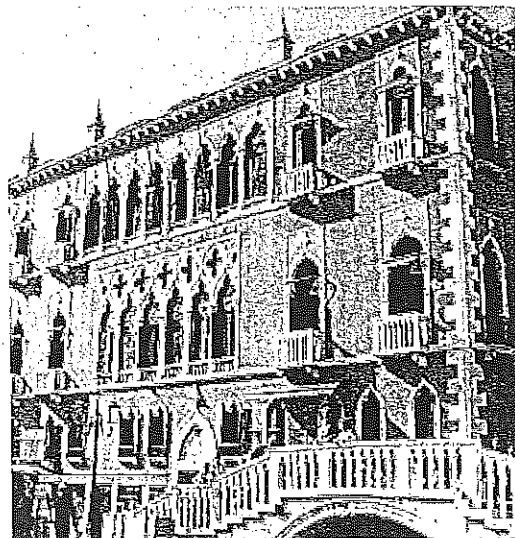


マッジョーレ島の隣の島にはイタリア海上
保安庁の基地があり、巡視船も配備されている。左
手の建物は、運河を挟んで教会である。

ヴェネツィアサミットについては、①大型低気圧(台風のようなもの)の接近、②風、③高潮、といった自然災害の不安があった。

高潮により、ヴェネツィアの路地に海水が入り込むということが頻繁に起こっていたが、こうしたことがサミットのテーマに環境が選ばれたきっかけの一つかもしれない。

逆に干潮の時に、運河が干して大型の船が通りにくくなったということがあった。



日本代表団が宿泊したホテルダニエリ
観光名所の「嘆きの橋」のそばにある。

この時日本代表団は114名が参加し、サミット会場の運河を挟んだ向かい側であるホテル・ダニエリ(部屋数221)に宿泊し、毎日向かいのセントマッジョーレ教会にわたっていた。

7月4日ヴェネツィアを訪れ、船でサン・ジョルジョ・マッジョーレ島を訪れた。

島の隣には、イタリア海上保安庁の基地がある。このため、警備面では緊急事態に対する備えは万全であったと思われる。

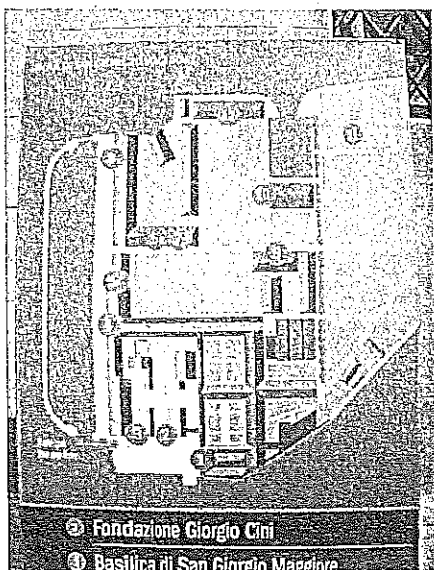
この点、三重県の賢島周辺にはこうした保安庁の船や自衛隊艦が寄港できる場所がなく、洋上での待機になるであろうが、こうした警備船の寄港地の選定も必要となってくるのではないだろうか。

サミット会場になった教会は、通常の規模の大きさであり、サミットで首脳陣が集まったとは思えないような場所である。

中心の堂内でなく、周辺の建物の会議室で会議が行われ、中央の堂ではメインのイベントや会食などが行われたようである。

会場のトイレは、会議室の近隣に数ヶ所あるのみで、少なく会期中は臨時のトイレを設置していたようである。

三重県でのサミット会場はホテルを予定されているので、心配はないかもしれないが、しかし、会議スペース以外のこうした施設の整備もチェックをする必要がある。



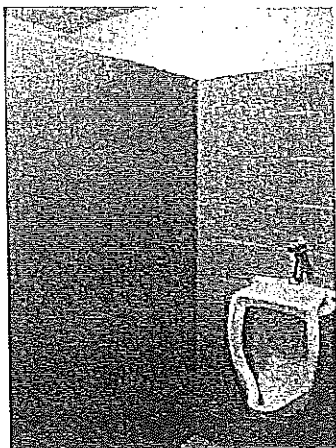
サン・ジョルジョ・マッジョーレ島の全体図
左下が教会、右側には庭園



教会の堂内部



教会本堂の東側にある建物の
会議室内部の様子。



教会内部のトイレ。手狭な感じで数も少ない



島は運河で囲まれている。
左側が教会のある島 右側が保安庁のある島

ちなみに、イタリアは1987年のサンマルコサミットも離島で行った。

会場になったのは、ジュデッタ島であり、レーガン大統領もヘリコプターで会場に向かったが、やはり宿泊は大陸側のサンマルコであった。サンマルコのホテルの他の宿泊受入停止は2,3か月前から始まっていたということだが、サミット開催中も現地観光客は普通に観光していたようである。

5. イタリアの諸制度について

(1) イタリアの地方自治について

イタリアの基礎自治体は、Comune(コムーネ)と呼ばれる自治体のみである。

日本のような人口規模に応じての市町村といった整理はしない。

もともと、外敵(神聖ローマ皇帝やナポレオン等)からの侵入に対して共同体で立ち向かった歴史があり、近代的な地方自治体というよりはむしろ共同体という意識が強い。

一つ一つのコムーネは歴史が古い分、規模が小さいものが地方では残っているけれども、コムーネ同士の合併が難しい。

イタリアは国の下に 20 の州、その下に各州に 10 ほどある県(ポロヴィンチャ)、そしてコムーネの 4 層構造であり、各自治組織の統合がなかなか進まないため、各自治体の財政状況が悪い。

そのことが突き詰めると国家財政の悪化の要因の一つになっている。

(2) ミラノ市について

ミラノ市(Commune de Milano)は、人口 132 万人でイタリア第 2 の都市。

北イタリアの中心都市であり、周辺を含めた商圏人口は 520 万人程度と言われている。

地下鉄やトラム・路面電車が発達しているが、車も多い。観光地であるため、タクシーも多い。

市内中心部は混雑するが、中心部から放射線状の道が伸び、その周辺を環状道路がめぐっているので、そうした街並みが頭に入っていると、うまく渋滞を抜けていくことができる。

年に 2 回、1 月と 7 月にバーゲンセールを行い、世界中からそれを目的にバイヤーが集まる。

法律で、バーゲンセールを行う日が決まっており、2015 年は我々が訪れた 7 月 3 日からスタートした。ファッション関連のショップは、8 月には昼休みをとる店がある。

(3) イタリアの社会事情

【マザコンの国？イタリア】

イタリアは、いわゆるマザコンの多い国と言われており、パラサイトシングルのように 40 歳台になっても独身であることが増えてきている。

日本と同じような問題を抱えているが、それでも出生率が維持できているのは移民を受け入れているからである。

移民の受け入れは、主に地中海地域から。北アフリカやトルコを含むこうした地域は、古代ローマから地中海文化圏を築いてきたので、同一感が強い。そのため、この地域の移民はスペイン・ポルトガル・イタリアに集中する。

フランス・イギリス・ドイツなどは移民抑制策をとっているが、EU の中でもこの勝ち組 3 国とその他の国の意識的な対立が強い。ギリシャ問題の遠因もそこにある部分もある。

【イタリア人とカイゼン】

イタリア人は全体を読む力があり、企業においても、日本でいう「カイゼン」をやり遂げる性質がほかの国よりある。

例えば、イタリア企業のジェーニャは、イタリアのオーダーメイドスーツを販売している企業であるが、日本の銀座に出店して日本でも知られている。

ここは、スーツの中でもいくつかの型で共用できる部分とその型独自の部分とを整理して、生地やボタン、ファスナーなどの種類を減少させることに成功している。

まさに、自動車部品のやっていることの応用であるが、こうしたことを思いつけるのはイタリア人の特性であるといわれる。

ただ、イタリアは個性の力であり、こうした能力を発揮するのは、個人の資質によるところが多い。

一方で日本は組織の力であり、チームでこうした課題を解決しようとする。

例えば、日本のクーラー製造メーカーのダイキン工業も 12,000 個の部品をイタリアで一つ一つ分析して工程を見直したりしていた。ただし、冷夏でクーラーが余ってしまい、移り気なイタリア人にはあまり受け入れられていない。

その後、ダイキン工業はチェコに工場を移し、この人達は真面目な人が多いので、製造が堅調に進んでヨーロッパ中に出荷している。

【イタリア人の買い物】

イタリアの家族は一週間に一度の買い物であり、毎日買い物するという習慣はない。

ミラノ郊外にもフィオリダ・リブといった大型ショッピングスーパーがある。

イタリアと食料品を取引する際は、特にこうした買い物スタイルを意識する必要がある。

当然に、一回の買い物の数量などは日本のような小ロットではなく、大ロットである。

【イタリアの景観政策】

イタリアの特にミラノのような大都市内は広告に対する規制が厳しく、特に道路沿いには看板などは少ない。目立つのは、店舗の看板くらい。文化遺産の多いイタリアならではの、文化政策だが、一方で古い建造物等の修繕期間は足場に広告を付けることができる。

古い建造物の修繕は期間が長くかかる傾向にあるが、これは修繕費を捻出するために公告期間を長くしているのではないかと、イタリア人たちは噂するほどである。

【イタリアの観光】

イタリアへの観光は、地中海からだけでなく、アラブ方面からもくる。

宗教が異なる国もあるが、歴史の古さと芸術性と気候の良さに惹かれて、世界的な観光地の地位は揺るがない。

しかし、夏はより涼しいドイツに行く金持ちが多い。以前は地中海に別荘をかまえる富豪が多かったが、最近アラブの王族などはドイツ・ミュンヘン近くに別荘などを構える傾向にある。

旅費等支出計算書

(区分: 会派分) (経費区分: 調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	名阪国道及び国道25号整備促進期成同盟会平成27年度通常総会及びサンシャインパークの利活用に関する調査他			
日程	平成27年7月7日 ~ 平成27年7月7日			
行き先	伊賀市(ヒルホテルサンピア伊賀)、鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(布気町他)			
金額	5,880円			
支出内訳	1 旅費		合計	5,880円
	自家用車使用1	7/7-7/7	(30円/km × 96km)	2,880円
	政務雑費1	7/7-7/7	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿川の整備に関する調査及び鈴鹿亀山地区の三重県の事業予定箇所に関する調査他		
日程	平成27年7月9日 ~ 平成27年7月9日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所他)、亀山市(木下町他)		
金額	4,290円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,290円
	自家用車使用1	7/9-7/9 (30円/km × 43km)	1,290円
	政務雑費1	7/9-7/9 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿関線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年7月11日 ～ 平成27年7月11日		
行き先	亀山市(阿野田町他)		
金額	3,360円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,360円
	自家用車使用1	7/11-7/11 (30円/km × 12km)	360円
	政務雑費1	7/11-7/11 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	リニア中央新幹線の東京名古屋同時開業に関する調査及び国道25号線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年7月14日 ~ 平成27年7月14日		
行き先	津市(ホテルグリーンパーク津)、亀山市(加太中在家他)		
金額	4,690円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,690円
	運賃等1	7/14-7/14 JR:亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	7/14-7/14 (30円/km × 35km)	1,050円
	政務雑費1	7/14-7/14 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	亀山停車場石水溪線、亀山白山線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年7月16日 ~ 平成27年7月16日			
行き先	亀山市(亀田町他)			
金額	3,390円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,390円
	自家用車使用1	7/16-7/16	(30円/km × 13km)	390円
	政務雑費1	7/16-7/16	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	キッズ“輝け”スクールに関する調査及び獣害対策に関する調査他		
日程	平成27年7月22日 ～ 平成27年7月22日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(関町福德他)		
金額	4,530円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,530円
	自家用車使用1	7/22-7/22 (30円/km × 51km)	1,530円
	政務雑費1	7/22-7/22 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	太陽光発電及び農業振興地域に関する調査他			
日程	平成27年7月25日 ～ 平成27年7月25日			
行き先	亀山市(川崎町他)			
金額	3,870円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,870円
	自家用車使用1	7/25-7/25	(30円/km × 29km)	870円
	政務雑費1	7/25-7/25	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	三重国体の推進及び空家対策に関する調査他			
日程	平成27年7月27日 ～ 平成27年7月27日			
行き先	津市(ホテルグリーンパーク)、亀山市(川崎地区コミュニティセンター他)			
金額	4,740円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,740円
	自家用車使用1	7/27-7/27	(30円/km × 58km)	1,740円
	政務雑費1	7/27-7/27	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	四日市関線の改良に関する調査他			
日程	平成27年7月28日 ～ 平成27年7月28日			
行き先	亀山市(白木町他)			
金額	3,570円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,570円
	自家用車使用1	7/28-7/28	(30円/km × 19km)	570円
	政務雑費1	7/28-7/28	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	介護、サンシャインパークの利用、河川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年7月30日 ～ 平成27年7月30日			
行き先	津市（議事堂）、鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（川崎町他）			
金額	5,460円			
支出内訳	1 旅費		合計	5,460円
	自家用車使用1	7/30-7/30	(30円/km × 82km)	2,460円
	政務雑費1	7/30-7/30	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	リニア中央新幹線の早期実現に関する調査及び通学路交通安全点検他			
日程	平成27年7月31日 ～ 平成27年7月31日			
行き先	愛知県名古屋市(中村区内)、亀山市(亀山市役所他)			
金額	5,030円			
支出内訳	1 旅費		合計	5,030円
	運賃等1	7/31-7/31	JR:亀山⇄名古屋	1,940円
	自家用車使用1	7/31-7/31	(30円/km × 3km)	90円
	政務雑費1	7/31-7/31	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	棕川の改修に関する調査及び通学路交通安全点検他			
日程	平成27年8月3日 ～ 平成27年8月3日			
行き先	亀山市(白川小学校他)			
金額	3,750円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,750円
	自家用車使用1	8/3-8/3	(30円/km × 25km)	750円
	政務雑費1	8/3-8/3	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	通学路交通安全探検及び急傾斜地対策に関する調査他			
日程	平成27年8月4日 ～ 平成27年8月4日			
行き先	亀山市(辺法寺町他)			
金額	3,570円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,570円
	自家用車使用1	8/4-8/4	(30円/km × 19km)	570円
	政務雑費1	8/4-8/4	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	農政、河川の除草対策に関する調査他			
日程	平成27年8月6日 ～ 平成27年8月6日			
行き先	津市（議事堂）、鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（和田町他）			
金額	5,520円			
支出内訳	1 旅費		合計	5,520円
	自家用車使用1	8/6-8/6	(30円/km × 84km)	2,520円
	政務雑費1	8/6-8/6	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	竜川の整備に関する調査他			
日程	平成27年8月7日 ～ 平成27年8月7日			
行き先	亀山市(野村他)			
金額	3,330円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,330円
	自家用車使用1	8/7-8/7	(30円/km × 11km)	330円
	政務雑費1	8/7-8/7	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	辺法寺加佐登停車場線の整備、中ノ川の整備に関する調査他			
日程	平成27年8月8日 ~ 平成27年8月8日			
行き先	亀山市(川崎町他)			
金額	3,990円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,990円
	自家用車使用1	8/8-8/8	(30円/km × 33km)	990円
	政務雑費1	8/8-8/8	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	サンシャインパークの利用、セアカコケグモの駆除に関する調査他		
日程	平成27年8月9日 ～ 平成27年8月9日		
行き先	亀山市(布気町他)		
金額	3,420円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,420円
	自家用車使用1	8/9-8/9 (30円/km × 14km)	420円
	政務雑費1	8/9-8/9 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

(区分: 会派分) (経費区分: 調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	国道25号線、竜川の整備に関する調査他			
日程	平成27年8月11日 ~ 平成27年8月11日			
行き先	亀山市(加太北在家他)			
金額	4,230円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,230円
	自家用車使用1	8/11-8/11	(30円/km × 41km)	1,230円
	政務雑費1	8/11-8/11	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	宮川の整備、国道306号線他の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年8月12日 ~ 平成27年8月12日			
行き先	亀山市(安坂山町他)			
金額	4,530円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,530円
	自家用車使用1	8/12-8/12	(30円/km × 51km)	1,530円
	政務雑費1	8/12-8/12	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	セアカコケグモの駆除に対する調査他			
日程	平成27年8月13日 ～ 平成27年8月13日			
行き先	亀山市(布気町他)			
金額	3,510円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,510円
	自家用車使用1	8/13-8/13	(30円/km × 17km)	510円
	政務雑費1	8/13-8/13	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年8月14日 ～ 平成27年8月14日			
行き先	鈴鹿市(東庄内町)、亀山市(安坂山町他)			
金額	4,320円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,320円
	自家用車使用1	8/14-8/14	(30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	8/14-8/14	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	営農組合の運営、306号線の排水対策に関する調査他			
日程	平成27年8月16日 ～ 平成27年8月16日			
行き先	亀山市(小川町他)			
金額	3,930円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,930円
	自家用車使用1	8/16-8/16	(30円/km × 31km)	930円
	政務雑費1	8/16-8/16	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	都市計画に関する調査他			
日程	平成27年8月17日 ~ 平成27年8月17日			
行き先	津市(議事堂)、亀山市(天神他)			
金額	3,880円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,880円
	運賃等1	8/17-8/17	JR: 亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	8/17-8/17	(30円/km × 8km)	240円
	政務雑費1	8/17-8/17	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	農地転用、獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年8月19日 ~ 平成27年8月19日			
行き先	津市(議事堂)、亀山市(布気町他)			
金額	4,090円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,090円
	運賃等1	8/19-8/19	JR: 亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	8/19-8/19	(30円/km × 15km)	450円
	政務雑費1	8/19-8/19	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	竜川の整備に関する調査他		
日程	平成27年8月20日 ～ 平成27年8月20日		
行き先	亀山市(野村他)		
金額	3,300円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,300円
	自家用車使用1	8/20-8/20 (30円/km × 10km)	300円
	政務雑費1	8/20-8/20 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	歴史的町並みの防災・復興及び鈴鹿川の堆積土砂対策に関する調査他		
日程	平成27年8月22日 ～ 平成27年8月22日		
行き先	津市（三重大学）、亀山市（関町新所他）		
金額	4,620円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,620円
	自家用車使用1	8/22-8/22 (30円/km × 54km)	1,620円
	政務雑費1	8/22-8/22 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (印)		
用務	世界遺産の観光集客の取組、スマートライフへの取組、ふるさと納税、百人委員会を通じた町おこし、地域交通の存続方法に関する調査		
日程	平成27年8月23日～平成27年8月25日		
行き先	島根県太田市(石見銀山世界遺産センター)、鳥取県米子市(米子市役所)、鳥取県八頭郡智頭町(智頭町役場)、鳥取県八頭郡若桜町(若桜駅庁舎)		
金額	38,350円		
支出内訳	1 旅費		合計 33,000円
	宿泊費1	8/23-8/24 (16,500円/泊 × 2泊)	33,000円
	2 付随する経費		合計 5,350円
	その他1	8/23-8/23 石見銀山ツアー参加料	3,800円
	その他2	8/23-8/25 智頭町視察代金	1,250円
	その他3	8/25-8/25 若桜駅入構料	300円
備考	政務雑費: 吉川車、藤田車同乗で自車利用がないため、政務雑費は計上せず。 視察代金: 吉川、藤田、小島と4名で参加したため、5000円の1/4(1250円)計上。		

政 務 活 動 報 告 書

会 派 名 代 表 者 名	能 動 長 田 隆 尚 
旅 行 者 職 氏 名	長 田 隆 尚 
日 程 及 び 行 き 先	平成27年 8月23日(日)～8月25日(火) 島根県大田市(石見銀山世界遺産センター) 鳥取県米子市(米子市役所) 鳥取県八頭郡(智頭町役場、若桜駅庁舎)
目 的	世界遺産の観光集客の取組、スマートライフの取組、ふるさと納税、百人委員会を通じた町おこし、地域交通の存続方法に関する調査
経 費 内 訳	旅費33,000円 付随する経費 5,350円 (詳細については旅費等支出計算書参照)
概 要 等	① 観光振興課、青木さんより石見銀山について説明を聞いた。「近くの観光地に石見銀山の世界遺産登録の影響があったということではなく、あったとしても限定的である。大田市にはビジネスホテルのみで大きなホテルがなく、近くの玉造温泉に観光客は流れていく。土産として適するものがなく、物産は弱い。参加者のツアーに関する満足度は高いが、リピーター率は十分なデータは取れていないが全体の1～2割と思われ、近隣からのリピーターである。インバウンドに関しては、毎年プラス50%、島根県自体も台湾・中国・韓国からの観光客が伸びている。ガイドとしては実働50人、英語・中国語などのパンフレットがある。事前のイメージの伝え方が大切であると考えており、どのように発信をしていくかが重要である。また、受け入れ側として、観光・教育の両側面から研修をすすめていくことが必要と考えている」とのことだった。三重県でも、熊野古道世界遺産登録10周年を契機にさらなる観光客誘致に向け取り組むことが求められており、参考になった。 ② スマートライフについて、米子市役所にて調査を行った。実証実験については、平成25年度から取り組み始め、プロジェクトリーダーは中海テレビ。対象は2市4町1村、10万世帯。うち5万世帯が契約している。 dボタンを押すとテロップを見ることができ、防災無線の補完として官民一体となって周知している。dボタンを押す習慣づけは、クイズ等の導

	入により図っている。タブレットの貸し出しについては、包括支援センターで希望者を募り行っている。実証実験参加者の属性については限定しなかったが、福祉との連携が不足していると考えている。カーシェアリングについては、立地条件によって成り立つかどうかが決まる、など説明を受けた。ケーブルテレビがプロジェクトの中心を担うことが素晴らしいと感じた。タブレットを健康づくりにも生かすことが望ましいが、イニシャルコストをどうするか、立ち上げすら難しい世代対象にどうやったら意義あるものにできるかなど、課題は多い。
	③ ふるさと納税に関して、4万人が参加し、約4億7千万円が集まっている。リピート率は約7割であり、物品については、米子市以外のものでもよいが、商工会議所の範囲と制限を設けている。何らか米子市と縁があったり、市の産品を使ったりしたものを送っている。はじめは3千万円程度であったが、大きく伸びてきている。業務はシルバー人材センターに委託し、集まったお金はまず基金にくくり、その後一般会計に繰り入れて事業費に振り分けるという形で使っている。 三重県でも、ふるさと納税に関して積極的に取り組んでいるところがあるが、多くの人に関心を持っていただく方法としては意義のある取り組みだと感じた ④ 地方活性を様々な立場の方が関わってすすめている。過疎が進む一方で、「森の幼稚園」の取り組みなどが移住者を増やすことにつながっている。移住者と地元住民との交流をどう進めるかが大きな課題であり、移住者がコミュニティを作ること大切であるが、地域の一員として根付くことが求められている。 ⑤ 鉄道は固定費が高く、なくす議論が起こったが、上下分離式（日本初）で残すことになった。鉄道がなくなると地域が残せない。まず、鳥取市内の人を呼びたいと考えたが、SLを動かすとなると6億かかる試算でありそれではとても収支のバランスがはかれない。そこで、県市からそれぞれ250万円ずつ補助をいただき、イベントを企画したところ、地元テレビ局の広報もあり、13000人の来客、経済効果も大きかった。地元をサポート委員会を作り、事務局は行政が担い、官民一体となって取り組んだ。交通インフラを残す、という目的だけでなく、観光推進、地域活性が一番の狙いである。イベント実験は成功したが、SL運行にはお金の問題がある。1回2～300人、泊を伴う観光が創出できれば、と考えているということだった。交通は本来は町のインフラなのに、町と鉄道の関係が薄く、第3セクターに移行した時も地域の人々の参画が大きく期待されたにもかかわらずそれまでと変わらなかったのも、そこを変えたいという思いも強かったということだった。人口減少と交通政策、モータリゼーションの在り方など、三重県も経営が厳しい路線がある中、継続してとりくむべき課題であるとの認識をあらたにした。

宿 泊 証 明 書

宿泊者氏名	長田 隆尚
宿 泊 日	27年 8 月 23日から / 泊

上記のとおり宿泊したことを証明します。

27年 8 月 23 日

米子市明治町195

宿泊施設名 ホテル アルファ・ゴ 米子

宿 泊 証 明 書

宿泊者氏名	長田 隆尚 様
宿 泊 日	2015 年 8 月 24 日から 1 泊

上記のとおり宿泊したことを証明します。

2015 年 8 月 24 日

〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2丁目138-2

アパホテル〈鳥取駅前〉

宿泊施設名 TEL 0857 - 27 - 8811
FAX 0857 - 27 - 8830

納入通知書兼領収証書

発行日平成27年 8月22日

納入義務者 住所氏名	三重県度会郡玉城町勝田2729番地1 三重県議会議員 吉川 新 様		
年 度 平成27年度	会 計 一般会計		
調定番号 0100001003	金 額	5,000 円	
摘 要 三重県議会視察受入収入 4人 5,000円			
主管課 企画課			
款 019 諸収入 項 005 雑入 目 004 雑入 節 003 雑入 細 節 096 視察受入収入			
納期限			
上記の金額を納期限までに納入して下さい。 平成27年 8月22日 智頭町長 寺谷 誠一郎			
上記の金額を領収しました。 鳥取銀行智頭支店 智頭町 会計管理者 矢部 久美子			
		鳥取県 八頭郡智 頭町会計 管理者印	
		領収日付印 27. 8. 25 羽計課	

(納入者保管)

智 頭 町

10600111

領 収 書

長田 隆尚 様

収 入
印 紙

金 額				千		円
				¥	3	800

内 訳

大久保間歩ツアー
参加料として

上記金額正に領収致しました

平成 27年 8 月 23日

扱 者 印

株式会社

石見観光

No 0002453

領 収 証

長田隆尚

様 No. 062

金 額					1	3	0	0
-----	--	--	--	--	---	---	---	---

但 入場券代金

27年 8 月 25 日 上記正に領収いたしました

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

収入印紙

若桜鉄道株式会社
若 桜 駅 長
0858-82-0919

10600112

GR1614

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	亀山白山線の整備、棕川他の台風15号災害に関する調査他			
日程	平成27年8月26日 ～ 平成27年8月26日			
行き先	亀山市(安知本町他)			
金額	4,140円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,140円
	自家用車使用1	8/26-8/26	(30円/km × 38km)	1,140円
	政務雑費1	8/26-8/26	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	306号線の排水対策、慣行水利権に関する調査他			
日程	平成27年8月27日 ～ 平成27年8月27日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（川崎町他）			
金額	5,010円			
支出内訳	1 旅費			合計 5,010円
	自家用車使用1	8/27-8/27	(30円/km × 67km)	2,010円
	政務雑費1	8/27-8/27	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	亀山停車場石水溪線の整備、観光振興に関する調査他		
日程	平成27年8月28日 ～ 平成27年8月28日		
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（亀山市役所関支所他）		
金額	4,530円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,530円
	自家用車使用1	8/28-8/28 (30円/km × 51km)	1,530円
	政務雑費1	8/28-8/28 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	三重の木の拡販、加太川の整備に関する調査他		
日程	平成27年8月29日 ～ 平成27年8月29日		
行き先	津市（メッセウイング・みえ）、亀山市（加太中在家他）		
金額	4,950円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,950円
	自家用車使用1	8/29-8/29 (30円/km × 65km)	1,950円
	政務雑費1	8/29-8/29 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

(区分: 会派分) (経費区分: 調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	農地法に関する調査他		
日程	平成27年8月31日 ~ 平成27年8月31日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(能褒野町他)		
金額	4,270円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,270円
	運賃等1	8/31-8/31 JR:亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	8/31-8/31 (30円/km × 21km)	630円
	政務雑費1	8/31-8/31 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	国道306号線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年9月7日 ～ 平成27年9月7日			
行き先	亀山市(阿野田町他)			
金額	3,330円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,330円
	自家用車使用1	9/7-9/7	(30円/km × 11km)	330円
	政務雑費1	9/7-9/7	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	議会運営委員会傍聴及び駅前高塚線の道路改良に関する調査他			
日程	平成27年9月8日 ～ 平成27年9月8日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（上野町他）			
金額	4,260円			
支出内訳	1 旅費		合計	4,260円
	自家用車使用1	9/8-9/8	(30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	9/8-9/8	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	河川災害、崖条例に関する調査他			
日程	平成27年9月9日 ～ 平成27年9月9日			
行き先	亀山市(川合町他)			
金額	3,660円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,660円
	自家用車使用1	9/9-9/9	(30円/km × 22km)	660円
	政務雑費1	9/9-9/9	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿亀山道路に関する調査及び台湾との友好交流に関する調査		
日程	平成27年9月10日 ～ 平成27年9月10日		
行き先	津市(議事堂)、大阪府(大阪市)		
金額	8,590円		
支出内訳	1 旅費		合計 8,590円
	運賃等1	9/10-9/10 JR:亀山⇒津	320円
	運賃等2	9/10-9/10 近鉄(特急):津⇒大阪難波	3,000円
	運賃等3	9/10-9/10 JR:大阪⇒亀山	2,270円
	政務雑費1	9/10-9/10 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿関線の交通安全対策、鈴鹿亀山道路の整備に関する調査他			
日程	平成27年9月16日 ～ 平成27年9月16日			
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（川崎地区コミュニティセンター他）			
金額	4,350円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,350円
	自家用車使用1	9/16-9/16	(30円/km × 45km)	1,350円
	政務雑費1	9/16-9/16	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	交通安全対策プログラムに関する調査他			
日程	平成27年9月17日 ～ 平成27年9月17日			
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（亀山市役所他）			
金額	4,230円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,230円
	自家用車使用1	9/17-9/17	(30円/km × 41km)	1,230円
	政務雑費1	9/17-9/17	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿芸濃線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年9月22日 ～ 平成27年9月22日			
行き先	亀山市(中庄町他)			
金額	3,390円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,390円
	自家用車使用1	9/22-9/22	(30円/km × 13km)	390円
	政務雑費1	9/22-9/22	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	宮川の整備及び獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年9月23日 ～ 平成27年9月23日			
行き先	亀山市(安坂山町他)			
金額	3,720円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,720円
	自家用車使用1	9/23-9/23	(30円/km × 24km)	720円
	政務雑費1	9/23-9/23	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	御幣川の河川土砂撤去、獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年9月25日 ～ 平成27年9月25日			
行き先	亀山市(川崎町他)			
金額	4,320円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,320円
	自家用車使用1	9/25-9/25	(30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	9/25-9/25	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿亀山道路の建設に関する調査他		
日程	平成27年9月29日 ～ 平成27年9月29日		
行き先	鈴鹿市(甲斐町他)、亀山市(辺法寺町他)		
金額	4,410円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,410円
	自家用車使用1	9/29-9/29 (30円/km × 47km)	1,410円
	政務雑費1	9/29-9/29 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	急傾斜地対策に関する調査他			
日程	平成27年10月6日 ～ 平成27年10月6日			
行き先	亀山市(辺法寺町他)			
金額	4,260円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,260円
	自家用車使用1	10/6-10/6	(30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	10/6-10/6	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿亀山道路の整備に関する調査他		
日程	平成27年10月8日 ～ 平成27年10月8日		
行き先	亀山市(能褒野町他)		
金額	3,990円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,990円
	自家用車使用1	10/8-10/8 (30円/km × 33km)	990円
	政務雑費1	10/8-10/8 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	平成27年度中部地方治水大会出席及び加太地区の道路事業に関する調査他		
日程	平成27年10月9日 ～ 平成27年10月9日		
行き先	津市(三重県総合文化センター)、亀山市(林業総合センター他)		
金額	5,040円		
支出内訳	1 旅費		合計 5,040円
	自家用車使用1	10/9-10/9 (30円/km × 68km)	2,040円
	政務雑費1	10/9-10/9 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

10600130

H27中治第6号

平成 27年9月8日

県議会議員

長田 隆尚 様

平成27年度中部地方治水大会実行委員会長

三重県県土整備部長 水谷 優兆

平成 27年度中部地方治水大会の開催について(依頼)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、平成 27年度中部地方治水大会を、別添のとおり三重県津市で開催いたしますので、ご多用中恐縮ですが、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご出欠につきましては、お手数ですが、同封の葉書により、平成 27年9月15日(火)までにお知らせくださいますようお願い申し上げます。

事 務 担 当

平成 27年度中部地方治水大会実行委員会事務局

三重県 県土整備部 河川課

水谷 亨、山本 友則、須川 智史

電話直通:059-224-2682

ファクシミリ:059-224-2684

電子メール:kasen@pref.mie.jp

住 所:〒514-8570

津市広明町13番地

三重県県土整備部河川課

10600131

平成27年度中部地方治水大会のご案内

主催 『中部地方治水大会実行委員会』

三重県

一般社団法人三重県社会基盤整備協会

全国治水期成同盟会連合会

○開催趣旨

中部地方治水大会は、中部5県(静岡、三重、愛知、長野、岐阜)選出の国会議員、地元県議会議員及び中部5県の県並びに市町村関係者が集まり、人命と財産を守る治水事業を計画的かつ着実に、安定水源の確保を図ることが、住民生活の安定と地域の発展に寄与するものであることを広く世論に喚起するものです。

また、国会、政府並びに関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言していくものです。

1 日 時 平成27年10月9日(金)
13時30分から17時00分まで (受付は12時30分から)

2 場 所 三重県総合文化センター 多目的ホール(フレンテみえ)
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
電話番号 059-233-1111
URL: <http://www.center-mie.or.jp/guide/bunka>

3 内 容

× 第1部 記念講演(13時30分から14時35分まで)
講 師: 岡田 登 氏(皇學館大学教授)
テーマ: 「伊勢参宮と宮川」

○ 第2部 中部地方治水大会(14時45分から17時00分まで)

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 開会 | (6) 事業説明 |
| (2) 主催者あいさつ | (7) 意見発表 |
| (3) 来賓祝辞 | (8) 大会決議 |
| (4) 来賓紹介 | (9) 次期開催県決定 |
| (5) 祝電披露 | (10) 閉会 |

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	棕川、中ノ川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年10月10日 ～ 平成27年10月10日			
行き先	亀山市(下庄町他)			
金額	3,570円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,570円
	自家用車使用1	10/10-10/10	(30円/km × 19km)	570円
	政務雑費1	10/10-10/10	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (印)		
用務	伊勢志摩サミット三重県民会議総会参加及び水道の整備に関する調査他		
日程	平成27年10月13日 ~ 平成27年10月13日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(亀山市役所関支所他)		
金額	4,740円		
支出内訳	1 旅費、		合計 4,740円
	自家用車使用1	10/13-10/13 (30円/km × 58km)	1,740円
	政務雑費1	10/13-10/13 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

サ県会第01-29号
平成27年9月8日

三重県議会議員
長田 隆尚 様

伊勢志摩サミット三重県民会議
会長 鈴木 英敬
(公印省略)

「伊勢志摩サミット三重県民会議」第2回総会への出席依頼に
ついて (依頼)

平素は、伊勢志摩サミットの開催に向けて、格別のご理解、ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、「伊勢志摩サミット三重県民会議」につきまして、第2回総会を下記
のとおり開催いたしますので、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

なお、誠にお手数ですが、下記3の書類をご記入のうえ、同封の返信用封筒
にて、10月1日(木)までにご返送賜りますようお願いいたします。

記

1 日 時 平成27年10月13日(火) 13時30分～14時30分
(受付開始 13時00分～)

2 場 所 三重県庁講堂(講堂棟 1F)

3 返信いただきたい書類
第2回総会出欠確認票(別紙)

【事務担当】伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
(三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局内)

総務課 岡本、川本

Tel 059-253-5492

Fax 059-253-5498

E-mail: summit@pref.mie.jp

10600135

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	自治会の草刈り委託に関する調査他		
日程	平成27年10月14日 ～ 平成27年10月14日		
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（安知本町他）		
金額	4,140円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,140円
	自家用車使用1	10/14-10/14 (30円/km × 38km)	1,140円
	政務雑費1	10/14-10/14 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)			
用務	耐震診断に関する調査他			
日程	平成27年10月15日 ~ 平成27年10月15日			
行き先	亀山市(下庄町他)			
金額	3,390円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,390円
	自家用車使用1	10/15-10/15	(30円/km × 13km)	390円
	政務雑費1	10/15-10/15	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会平成27年度総会出席及び三重国体に関する調査他			
日程	平成27年10月19日 ～ 平成27年10月19日			
行き先	津市（津都ホテル）、亀山市（野村他）			
金額	4,380円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,380円
	自家用車使用1	10/19-10/19	(30円/km × 46km)	1,380円
	政務雑費1	10/19-10/19	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (印)			
用務	中ノ川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年10月21日 ~ 平成27年10月21日			
行き先	亀山市(楠平尾町他)			
金額	3,330円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,330円
	自家用車使用1	10/21-10/21	(30円/km × 11km)	330円
	政務雑費1	10/21-10/21	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿芸濃線、四日市関線に関する調査他		
日程	平成27年10月22日 ～ 平成27年10月22日		
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（白木町他）		
金額	4,290円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,290円
	自家用車使用1	10/22-10/22 (30円/km × 43km)	1,290円
	政務雑費1	10/22-10/22 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	商店街の活性化及び急傾斜対策に関する調査他			
日程	平成27年10月23日 ～ 平成27年10月23日			
行き先	亀山市(菅内町他)			
金額	3,510円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,510円
	自家用車使用1	10/23-10/23	(30円/km × 17km)	510円
	政務雑費1	10/23-10/23	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	フラワー道路、旧国道306号線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年10月25日 ～ 平成27年10月25日		
行き先	亀山市(川崎町他)		
金額	3,660円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,660円
	自家用車使用1	10/25-10/25 (30円/km × 22km)	660円
	政務雑費1	10/25-10/25 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

10600142

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	水質保全、鈴鹿川の整備に関する調査他		
日程	平成27年10月28日 ～ 平成27年10月28日		
行き先	津市(グリーンホテル)、亀山市(川合町他)		
金額	4,290円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,290円
	自家用車使用1	10/28-10/28 (30円/km × 43km)	1,290円
	政務雑費1	10/28-10/28 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	亀山白山線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年10月30日 ～ 平成27年10月30日		
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（亀山警察署他）		
金額	4,290円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,290円
	自家用車使用1	10/30-10/30 (30円/km × 43km)	1,290円
	政務雑費1	10/30-10/30 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	知事市長一対一対談傍聴及び耐震診断に関する調査他		
日程	平成27年11月2日 ～ 平成27年11月2日		
行き先	亀山市(白川小学校他)		
金額	3,780円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,780円
	自家用車使用1	11/2-11/2 (30円/km × 26km)	780円
	政務雑費1	11/2-11/2 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	急傾斜地対策に関する調査他		
日程	平成27年11月5日 ～ 平成27年11月5日		
行き先	亀山市(白木町他)		
金額	3,810円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,810円
	自家用車使用1	11/5-11/5 (30円/km × 27km)	810円
	政務雑費1	11/5-11/5 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	土地改良事業及び鈴鹿関線の改良に関する調査他		
日程	平成27年11月6日 ～ 平成27年11月6日		
行き先	四日市市(三重県四日市庁舎)、亀山市(天神他)		
金額	4,060円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,060円
	運賃等1	11/6-11/6 JR: 亀山⇄四日市	820円
	自家用車使用1	11/6-11/6 (30円/km × 8km)	240円
	政務雑費1	11/6-11/6 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年11月9日 ～ 平成27年11月9日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（山下町他）			
金額	4,380円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,380円
	自家用車使用1	11/9-11/9	(30円/km × 46km)	1,380円
	政務雑費1	11/9-11/9	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	亀山停車場石水溪線の整備及び中ノ川の整備に関する調査他		
日程	平成27年11月10日 ～ 平成27年11月10日		
行き先	鈴鹿市(三宅町)、亀山市(亀田町他)		
金額	3,840円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,840円
	自家用車使用1	11/10-11/10 (30円/km × 28km)	840円
	政務雑費1	11/10-11/10 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鹿島橋、鈴鹿芸濃線の安全対策に関する調査		
日程	平成27年11月12日 ～ 平成27年11月12日		
行き先	鈴鹿市（鈴鹿建設事務所）、亀山市（下庄町他）		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	11/12-11/12 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	11/12-11/12 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	土砂災害、学力向上に関する調査		
日程	平成27年11月13日 ~ 平成27年11月13日		
行き先	亀山(安坂山町他)		
金額	3,990円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,990円
	自家用車使用1	11/13-11/13 (30円/km × 33km)	990円
	政務雑費1	11/13-11/13 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	道路、急傾斜地の維持修繕に関する調査他		
日程	平成27年11月16日 ～ 平成27年11月16日		
行き先	津市（議事堂）、亀山市（阿野田町他）		
金額	4,170円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,170円
	自家用車使用1	11/16-11/16 (30円/km × 39km)	1,170円
	政務雑費1	11/16-11/16 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	議会運営委員会傍聴及び通学路の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成27年11月18日 ～ 平成27年11月18日		
行き先	津市（議事堂）、亀山市（羽若町他）		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	11/18-11/18 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	11/18-11/18 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	堆積土砂対策に関する調査		
日程	平成27年11月19日 ～ 平成27年11月19日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(布気町他)		
金額	4,080円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,080円
	自家用車使用1	11/19-11/19 (30円/km × 36km)	1,080円
	政務雑費1	11/19-11/19 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	災害対策に関する調査他			
日程	平成27年11月20日 ～ 平成27年11月20日			
行き先	津市（議事堂）、亀山市（野村他）			
金額	4,320円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,320円
	自家用車使用1	11/20-11/20	(30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	11/20-11/20	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿川の河川改修に関する調査他		
日程	平成27年11月23日 ～ 平成27年11月23日		
行き先	亀山市(関町新所他)		
金額	3,480円		
支出内訳	1. 旅費		合計 3,480円
	自家用車使用1	11/23-11/23 (30円/km × 16km)	480円
	政務雑費1	11/23-11/23 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	新名神高速道路の進捗状況、信号機の制御に関する調査他		
日程	平成27年11月25日 ～ 平成27年11月25日		
行き先	鈴鹿市(小岐須町)、亀山市(亀山警察署他)		
金額	4,110円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,110円
	自家用車使用1	11/25-11/25 (30円/km × 37km)	1,110円
	政務雑費1	11/25-11/25 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

10600157

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	免許証の自主返納、耐震補強補助精度に関する調査他		
日程	平成27年11月26日 ～ 平成27年11月26日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(江ヶ室他)		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	11/26-11/26 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	11/26-11/26 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

10600158

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿芸濃線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成27年12月3日 ～ 平成27年12月3日			
行き先	亀山市(安知本町他)			
金額	3,420円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,420円
	自家用車使用1	12/3-12/3	(30円/km × 14km)	420円
	政務雑費1	12/3-12/3	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	人権、地域交通に関する調査他		
日程	平成27年12月5日 ～ 平成27年12月5日		
行き先	亀山市(関町木崎他)		
金額	3,450円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,450円
	自家用車使用1	12/5-12/5 (30円/km × 15km)	450円
	政務雑費1	12/5-12/5 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	急傾斜地対策に関する調査他			
日程	平成27年12月14日 ～ 平成27年12月14日			
行き先	四日市市(四日市農林事務所)、鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(菅内町他)			
金額	4,950円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,950円
	自家用車使用1	12/14-12/14	(30円/km × 65km)	1,950円
	政務雑費1	12/14-12/14	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	代表者会議傍聴及び横断歩道の設置に関する調査他			
日程	平成27年12月18日 ～ 平成27年12月18日			
行き先	津市(議事堂)、亀山市(田村町他)			
金額	4,530円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,530円
	自家用車使用1	12/18-12/18	(30円/km × 51km)	1,530円
	政務雑費1	12/18-12/18	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			(長田)
用務	ステップアップカフェCotti菜1周年記念事業視察及び狭あい道路の整備に関する調査他			
日程	平成27年12月23日 ~ 平成27年12月23日			
行き先	津市(男女共同参画センター)、亀山市(江ヶ室他)			
金額	4,170円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,170円
	自家用車使用1	12/23-12/23	(30円/km × 39km)	1,170円
	政務雑費1	12/23-12/23	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

(区分：会派分) (経費区分：調査研究費)

旅行者 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	亀山停車場石水溪線の整備に関する調査他		
日程	平成27年12月25日 ~ 平成27年12月25日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(辺法寺町他)		
金額	4,440円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,440円
	自家用車使用1	12/25-12/25 (30円/km × 48km)	1,440円
	政務雑費1	12/25-12/25 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	獣害対策に関する調査他			
日程	平成27年12月26日 ～ 平成27年12月26日			
行き先	亀山市(関町坂下他)			
金額	4,440円			
支出内訳	1 旅費			合計 4,440円
	自家用車使用1	12/26-12/26	(30円/km × 48km)	1,440円
	政務雑費1	12/26-12/26	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)			
用務	鈴鹿亀山道路の整備及び御幣川の堆積土砂対策に関する調査他			
日程	平成27年12月27日 ~ 平成27年12月27日			
行き先	亀山市(川崎町他)			
金額	3,840円			
支出内訳	1. 旅費			合計 3,840円
	自家用車使用1	12/27-12/27	(30円/km × 28km)	840円
	政務雑費1	12/27-12/27	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	リニア中央新幹線、関西本線の利便性の整備に関する調査他			
日程	平成27年12月28日 ～ 平成27年12月28日			
行き先	亀山市(関町新所他)			
金額	3,570円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,570円
	自家用車使用1	12/28-12/28	(30円/km × 19km)	570円
	政務雑費1	12/28-12/28	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	地域森林計画に関する調査他		
日程	平成28年1月3日 ～ 平成28年1月3日		
行き先	亀山市(安坂山町他)		
金額	4,050円		
支出内訳	1. 旅費		合計 4,050円
	自家用車使用1	1/3-1/3 (30円/km × 35km)	1,050円
	政務雑費1	1/3-1/3 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚			⑧
用務	四日市関線の整備に関する調査他			
日程	平成28年1月6日 ~ 平成28年1月6日			
行き先	亀山市(関町白木一色他)			
金額	3,690円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,690円
	自家用車使用1	1/6-1/6	(30円/km × 23km)	690円
	政務雑費1	1/6-1/6	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	台湾との経済文化等の交流に関する調査		
日程	平成28年1月7日 ～ 平成28年1月7日		
行き先	大阪市(台北駐大阪経済文化弁事処)、津市(議事堂)		
金額	8,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 8,260円
	運賃等1	1/7-1/7 JR:亀山⇒津	320円
	運賃等2	1/7-1/7 近鉄特急:津⇒大阪難波	3,000円
	運賃等3	1/7-1/7 JR:新今宮⇒亀山	1,940円
	政務雑費1	1/7-1/7 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	四日市関線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成28年1月8日 ～ 平成28年1月8日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(小川町他)		
金額	4,380円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,380円
	自家用車使用1	1/8-1/8 (30円/km × 46km)	1,380円
	政務雑費1	1/8-1/8 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	水源地域の保全、竜川の整備に関する調査他		
日程	平成28年1月9日 ～ 平成28年1月9日		
行き先	津市(三重県総合文化センター)、亀山市(野村他)		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	1/9-1/9 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	1/9-1/9 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	鈴鹿亀山道路に関する調査及び地方分権改革シンポジウム参加		
日程	平成28年1月13日 ～ 平成28年1月13日		
行き先	津市(議事堂)、京都市(メルパルク京都)		
金額	8,160円		
支出内訳	1 旅費		合計 8,160円
	運賃等1	1/13-1/13 JR:亀山⇒津	320円
	運賃等2	1/13-1/13 近鉄特急:津⇒京都	3,520円
	運賃等3	1/13-1/13 JR:京都⇒亀山	1,320円
	政務雑費1	1/13-1/13 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

地方分権改革シンポジウム

「地方創生において地方分権の果たす役割と今後の展望」

開催日：平成28年1月13日（水）

時間：13：30～16：30

会場：メルパルク京都

参加費：無料

定員：300名

事前申込制（先着順）

プログラム

主催者挨拶

石破 茂（予定） 内閣府特命担当大臣

基調講演



高橋 滋

地方分権改革有識者会議
提議募集検討専門部会長
一橋大学大学院法学研究科教授

先進自治体の取組事例紹介



山田啓二
京都府知事



横尾俊彦
佐賀県多久市長

パネルディスカッション

テーマ：地方創生における地方分権改革

コーディネーター



鈴木英敬
三重県知事



横尾俊彦
佐賀県多久市長



勢一智子
西南学院大学
法学部教授



榎浦秀樹
株式会社庵プロデュース
代表取締役



藤本明美
特定非営利活動法人
京都子育てネットワーク
理事長



人羅 格
毎日新聞社
論説委員

※プログラム及び出演者の一部は、予告なく変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

参加申込み方法は
裏面をご覧ください。

主催：内閣府

10600174

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	急傾斜地対策に関する調査他		
日程	平成28年1月15日 ~ 平成28年1月15日		
行き先	四日市市(四日市農林事務所)、亀山市(菅内町他)		
金額	4,560円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,560円
	自家用車使用1	1/15-1/15 (30円/km × 52km)	1,560円
	政務雑費1	1/15-1/15 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿川の整備、水源地保全に関する調査他		
日程	平成28年1月17日 ~ 平成28年1月17日		
行き先	亀山市(関町沓掛、池山町他)		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	1/17-1/17 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	1/17-1/17 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	鈴鹿関線、名越長明寺線の交通安全対策に関する調査他			
日程	平成28年1月26日 ～ 平成28年1月26日			
行き先	亀山市(菅内町他)			
金額	3,480円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,480円
	自家用車使用1	1/26-1/26	(30円/km × 16km)	480円
	政務雑費1	1/26-1/26	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	「三重県水源地域の保全に関する条例」及び交通安全対策に関する調査他		
日程	平成28年1月27日 ～ 平成28年1月27日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(川崎町他)		
金額	4,530円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,530円
	自家用車使用1	1/27-1/27 (30円/km × 51km)	1,530円
	政務雑費1	1/27-1/27 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	耐震対策に関する調査他		
日程	平成28年1月28日 ~ 平成28年1月28日		
行き先	亀山市(天神他)		
金額	3,360円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,360円
	自家用車使用1	1/28-1/28 (30円/km × 12km)	360円
	政務雑費1	1/28-1/28 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	TPPの農業に与える影響に関する調査他		
日程	平成28年1月29日 ～ 平成28年1月29日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(住山町他)		
金額	4,260円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,260円
	自家用車使用1	1/29-1/29 (30円/km × 42km)	1,260円
	政務雑費1	1/29-1/29 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚				
職務	亀山白山線の交通安全対策、前田川の堆積土砂対策に関する調査他				
日程	平成28年1月31日 ～ 平成28年1月31日				
行き先	亀山市(下庄町他)				
金額	3,780円				
支出内訳	1 旅費			合計	3,780円
	自家用車使用1	1/31-1/31	(30円/km × 26km)		780円
	政務雑費1	1/31-1/31	(3,000円/日 × 1日)		3,000円
備考					

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	棕川の堆積土砂対策に関する調査他		
日程	平成28年2月2日 ～ 平成28年2月2日		
行き先	亀山市(布気町他)		
金額	3,420円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,420円
	自家用車使用1	2/2-2/2 (30円/km × 14km)	420円
	政務雑費1	2/2-2/2 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	バイオマス発電、棕川の改修に関する調査他		
日程	平成28年2月3日 ～ 平成28年2月3日		
行き先	津市(議事堂)、鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(川崎町他)		
金額	4,950円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,950円
	自家用車使用1	2/3-2/3 (30円/km × 65km)	1,950円
	政務雑費1	2/3-2/3 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	代表者会議傍聴及び安楽川の浚渫に関する調査他		
日程	平成28年2月4日 ～ 平成28年2月4日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(川崎町他)		
金額	4,500円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,500円
	自家用車使用1	2/4-2/4 (30円/km × 50km)	1,500円
	政務雑費1	2/4-2/4 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	国際戦略総合特区、獣害対策に関する調査他		
日程	平成28年2月8日 ～ 平成28年2月8日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(川崎町他)		
金額	4,710円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,710円
	自家用車使用1	2/8-2/8 (30円/km × 57km)	1,710円
	政務雑費1	2/8-2/8 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 			
用務	リニア中央新幹線の整備に関する調査			
日程	平成28年2月9日 ～ 平成28年2月9日			
行き先	東京都(衆議院議員会館他)、横浜市(鉄道・運輸機構)			
金額	26,310円			
支出内訳	1 旅費			合計 26,310円
	運賃等1	2/9-2/9	JR:亀山⇄新横浜	6,480円
	運賃等2	2/9-2/9	JR新幹線:名古屋⇒新横浜	4,630円
	運賃等3	2/9-2/9	JR:桜木町⇒東京	550円
	運賃等4	2/9-2/9	JR:東京⇒亀山	7,020円
	運賃等5	2/9-2/9	JR新幹線:東京⇒名古屋	4,630円
	政務雑費1	2/9-2/9	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	議会運営委員会傍聴及び「ASEAN環境フォーラムin三重」参加		
日程	平成28年2月12日 ～ 平成28年2月12日		
行き先	津市(議事堂)、四日市市(四日市都ホテル)		
金額	4,220円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,220円
	運賃等1	2/12-2/12 JR:亀山⇒津	320円
	運賃等2	2/12-2/12 近鉄:津⇒近鉄四日市	490円
	運賃等3	2/12-2/12 JR:四日市⇒亀山	410円
	政務雑費1	2/12-2/12 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	棕川の整備に関する調査他		
日程	平成28年2月17日 ～ 平成28年2月17日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(井田川町他)		
金額	4,500円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,500円
	自家用車使用1	2/17-2/17 (30円/km × 50km)	1,500円
	政務雑費1	2/17-2/17 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名 職氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	サンシャインパークの整備、地域交通の整備に関する調査他		
日程	平成28年2月24日、～ 平成28年2月24日		
行き先	鈴鹿市(三重県鈴鹿庁舎)、亀山市(白木町他)		
金額	5,040円		
支出内訳	1 旅費		合計 5,040円
	自家用車使用1	2/24-2/24 (30円/km × 68km)	2,040円
	政務雑費1	2/24-2/24 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	安楽川の整備、みえ森と緑の県民税に関する調査他		
日程	平成28年3月1日 ～ 平成28年3月1日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(加太市場他)		
金額	4,830円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,830円
	自家用車使用1	3/1-3/1 (30円/km × 61km)	1,830円
	政務雑費1	3/1-3/1 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	峯城址、四日市関線の整備に関する調査他		
日程	平成28年3月5日 ～ 平成28年3月5日		
行き先	亀山市(安坂山町他)		
金額	4,320円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,320円
	自家用車使用1	3/5-3/5 (30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	3/5-3/5 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	中ノ川の氾濫対策及び県行造林に関する調査他		
日程	平成28年3月9日 ～ 平成28年3月9日		
行き先	亀山市(安坂山町他)		
金額	4,320円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,320円
	自家用車使用1	3/9-3/9 (30円/km × 44km)	1,320円
	政務雑費1	3/9-3/9 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	耐震診断に関する調査他		
日程	平成28年3月14日 ~ 平成28年3月14日		
行き先	亀山市(関町新所他)		
金額	3,750円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,750円
	自家用車使用1	3/14-3/14 (30円/km × 25km)	750円
	政務雑費1	3/14-3/14 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

第10号様式（第9条第1項第2号関係）

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	鈴鹿川、鈴鹿芸濃線の安全対策に関する調査			
日程	平成28年3月18日 ～ 平成28年3月18日			
行き先	亀山市(亀山市総合保健福祉センター他)			
金額	3,420円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,420円
	自家用車使用1	3/18-3/18	(30円/km × 14km)	420円
	政務雑費1	3/18-3/18	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

10600194

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	シャープの地域経済に関する影響に関する調査他		
日程	平成28年3月23日 ～ 平成28年3月23日		
行き先	亀山市(白木町他)		
金額	3,630円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,630円
	自家用車使用1	3/23-3/23 (30円/km × 21km)	630円
	政務雑費1	3/23-3/23 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	八島川の河川対策、平野亀山線の道路の整備に関する調査他		
日程	平成28年3月24日 ～ 平成28年3月24日		
行き先	鈴鹿市(平野町)、亀山市(川崎町他)		
金額	4,140円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,140円
	自家用車使用1	3/24-3/24 (30円/km × 38km)	1,140円
	政務雑費1	3/24-3/24 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	地域交通、鈴鹿芸濃線の交通安全対策に関する調査他		
日程	平成28年3月25日 ～ 平成28年3月25日		
行き先	津市(議事堂)、亀山市(三寺町他)		
金額	4,200円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,200円
	自家用車使用1	3/25-3/25 (30円/km × 40km)	1,200円
	政務雑費1	3/25-3/25 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	鈴鹿川、中ノ川の堆積土砂対策に関する調査他		
日程	平成28年3月26日 ～ 平成28年3月26日		
行き先	亀山市(関町古厩他)		
金額	3,780円		
支出内訳	1 旅費		合計 3,780円
	自家用車使用1	3/26-3/26 (30円/km × 26km)	780円
	政務雑費1	3/26-3/26 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者 氏名	三重県議会議員 長田 隆尚 (長田)		
用務	亀山停車場石水溪線の改良に関する調査他		
日程	平成28年3月28日 ~ 平成28年3月28日		
行き先	鈴鹿市(鈴鹿建設事務所)、亀山市(天神他)		
金額	4,050円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,050円
	自家用車使用1	3/28-3/28 (30円/km × 35km)	1,050円
	政務雑費1	3/28-3/28 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚 		
用務	伊勢志摩サミット県民会議総会及び中ノ川の整備に関する調査他		
日程	平成28年3月29日 ～ 平成28年3月29日		
行き先	津市(県庁)、亀山市(下庄町他)		
金額	4,230円		
支出内訳	1. 旅費		合計 4,230円
	自家用車使用1	3/29-3/29 (30円/km × 41km)	1,230円
	政務雑費1	3/29-3/29 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考			

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：調査研究費）

旅行者名	三重県議会議員 長田 隆尚			
用務	耐震対策、亀山停車場石水溪線の整備に関する調査他			
日程	平成28年3月30日 ~ 平成28年3月30日			
行き先	亀山市(羽若町他)			
金額	3,360円			
支出内訳	1 旅費			合計 3,360円
	自家用車使用1	3/30-3/30	(30円/km × 12km)	360円
	政務雑費1	3/30-3/30	(3,000円/日 × 1日)	3,000円
備考				

研 修 費

旅費等支出計算書

（区分：会派分）（経費区分：研修費）

旅行者氏名	三重県議会議員 長田 隆尚		
用務	伊勢志摩サミット議会フォーラム参加及び自治会の法人化に関する調査他		
日程	平成27年12月22日 ～ 平成27年12月22日		
行き先	津市(グリーンパーク津)、亀山市(住山町他)		
金額	8,853円		
支出内訳	1 旅費		合計 4,030円
	運賃等1	12/22-12/22 JR:亀山⇄津	640円
	自家用車使用1	12/22-12/22 (30円/km × 13km)	390円
	政務雑費1	12/22-12/22 (3,000円/日 × 1日)	3,000円
	2 付随する経費		合計 4,823円
	その他1	12/22-12/22 伊勢志摩サミット議会フォーラム会場代、講師旅費、手土産代 人数割分	4,823円
備考			

領 収 書

三重県議会 能動 様

¥ 4, 8 2 3 円

平成28年 2 月 18 日

上記の金額について、領収いたしました。

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会

会長 中村 進一



【内容】

件 名：伊勢志摩サミット議会フォーラム（12月22日）

開催費用：226,720円

内訳）ホテルグリーンパーク津 会場費	197,720 円
講師旅費	27,300 円
手土産代	1,700 円

請求金額：以下のとおり

《各会派請求金額》

1 新政みえ（23人）	110,968円
2 自民党（18人）	86,814円
3 鷹山（1人）	4,823円
4 公明党（2人）	9,646円
5 能動（1人）	4,823円
6 大志（1人）	4,823円
7 草の根運動みえ（1人）	4,823円
請求金額合計	226,720円

10600204

請 求 書

三重県議会 各会派 御中

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会
会長 中村 進一

下記の件について、下記のとおり請求を申し上げます。

記

件 名：伊勢志摩サミット議会フォーラム（12月22日）

開催費用：226,720円

（内訳）	ホテルグリーンパーク津 会場費	197,720円
	講師旅費	27,300円
	手土産代	1,700円

請求金額：以下のとおり

《各会派請求金額》

1	新政みえ（23人）	110,968円
2	自民党（18人）	86,814円
3	鷹山（1人）	4,823円
4	公明党（2人）	9,646円
5	能動（1人）	4,823円
6	大志（1人）	4,823円
7	草の根運動みえ（1人）	4,823円
	請求金額合計	226,720円

（各会派請求金額算定方法）

$226,720 / 47$ （総会員数）＝4,823円（一人当たり、小数点以下切捨）

会派請求金額 ＝ 4,823×会派人数

※ 新政みえには、端数分（39円）を上乗せ

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会 伊勢志摩サミット議会フォーラム 開催要領

■趣 旨

サミットという世界最高峰の国際会議の開催は、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、地域の総合力の向上につなげる千載一遇のチャンスである。また、サミット開催による効果を一過性のものとせず、開催後の地域の活性化につなげるため、県民一人ひとりが積極的に関わり、全県的な取組として展開されていくことが重要となる。

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会として、県全体の開催機運の醸成を図り、「オール三重」として一丸となってサミットの成功に導く一助とするため、伊勢志摩サミット議会フォーラムを開催する。

■日時・場所：

平成27年12月22日（火） 13：00～14：30
グリーンパーク津 6階 葵・橘・藤の間

■演題・講師：

「伊勢志摩サミットの全県的な機運醸成に向けて」

滝崎 成樹（たきざき しげき）氏

（外務省伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局長）

■参加対象者：県議会議員、市町長、市町議会議員、県職員、市町職員

※ 上記参加対象者のほか、希望する県民の方の参加も可

■定員：190名

■参加費：無料

■主催：伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会について

本協議会は、三重県議会として主要国首脳会議の開催に全面的に協力し、その成功の一助となることを目的として今年6月に設置。関係者からの情報収集、情報交換、県民への積極的な情報の提供・発信などの事業を実施。

会員には47名（平成27年11月27日現在）の三重県議会議員が加入しており、会長に中村進一議長、事務局長に中森博文副議長が就任。

【講師紹介】

○滝崎 成樹（たきざき しげき）氏

1962年、茨城県生まれ。1985年外務省入省。在パキスタン大使館、在英国大使館勤務等を経て、総合外交政策局安全保障政策課長、在米国大使館公使、人事課長、アジア大洋州局参事官を歴任。2015年6月から現職。



政務活動費（研修費）

伊勢志摩サミット議会フォーラム（12月22日）経費の分担

開催費用：226,720円

（内訳）	ホテルグリーンパーク津 会場費	197,720 円
	講師旅費	27,300 円
	手土産代	1,700 円

経費の分担：以下のとおり

《各会派分担額》

1	新政みえ（23人）	110,968円
2	自民党（18人）	86,814円
3	鷹山（1人）	4,823円
4	公明党（2人）	9,646円
5	能動（1人）	4,823円
6	大志（1人）	4,823円
7	草の根運動みえ（1人）	4,823円
	請求金額合計	226,720円

（各会派分担額算定方法）

$226,720 / 47$ （総会員数） $= 4,823$ 円（一人当たり、小数点以下切捨）

会派分担額 $= 4,823 \times$ 会派人数

※ 新政みえには、端数分（39円）を上乗せ

Receipt

領収書

2016年01月07日

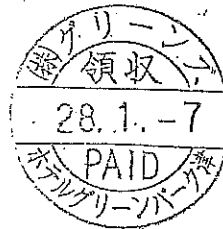
伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会様

No. 201601070050

¥197,720

上記正に領収いたしました。

但 会場使用料等



ホテルグリーンパーク津

〒514-0009 三重県津市羽所町700

Tel 059-213-2111

Fax 059-213-2112

<http://www.greens.co.jp/gptsu/>

GREENS HOTELS

発行No. 002048

No201601070050 2016-01-07 12:56 6005 993 9000

※ 内訳は別紙のとおり

領 収 証						No.
伊勢志摩サミット 三重県議会議員協議会様						平成27年12月5日
金額	百	千	円			
		17	00			
但し 上記金額正に領収致しました						収 入 印 紙
名 菓「山さくら」 朝 日 軒 本 舗 北 村 俊 正 松阪市愛宕町1丁目40番 TEL・FAX (0598) 21-1						

10600208

※ 講師12名に対する手土産代

日付 2015年12月22日

No.371 - 00

利用No 710

お名前 伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会 様

請求書ご明細

摘要		数量	単価	割引額	金額
				備考	
室料	葵・橘・藤・萩	1	77,760		77,760
	桔梗	1	9,720		9,720
	葵・橘・藤・萩 延長料	2	19,440		38,880
飲料	ミネラルウォーター	1	160		160
その他	吊看板	1	15,500		15,500
	垂幕	1	15,500		15,500
	スクリーン	1	16,000		16,000
	プロジェクター	1	21,000		21,000
	マイク	2	1,600		3,200
【小計】(C)					197,720
【入金】					
【入金他 小計】(D)					0
【合計】(C)-(D)					197,720

請求額 197,720円

(※消費税、サービス料等は含まれております)

ホテルグリーンパーク津

10600209

(BEXL0500 - 2610)

受領書

伊勢志摩サミット三重県議会議員協議会
会長 中村 進一 様

平成27年12月22日に開催された「伊勢志摩サミット議会フォーラム」の講師として出席した旅費について、下記のとおり、受領しました。

記

1 受領額

27,300 円

(内訳)

交通費 26,000 円

旅行雑費 1,300 円

2 旅行経路

東京駅 - 名古屋駅間 (往復)

近鉄名古屋駅 - 津駅間 (往復)

受領日 2015 年 12 月 22 日

受領者

住所

氏名

滝崎 成樹

10600210